

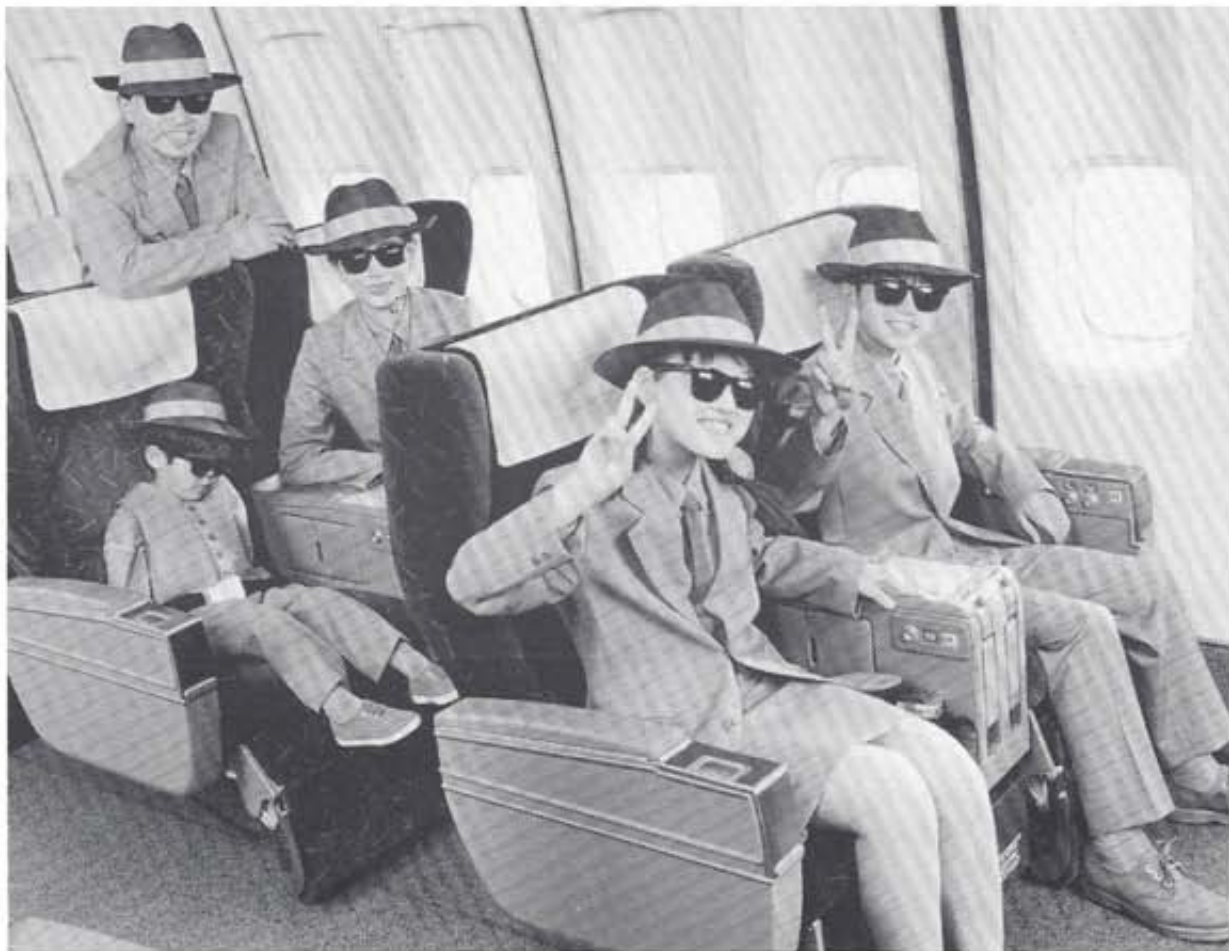
オーロラ 秋

カナダのライフスタイル誌・1996年秋 第16号



3ドル50セント

今年もJALで、無料航空券。



今年もJALファミリークラブは元気いっぱい。新しい特典もたくさん増えて、無料航空券もいっぱいです。家族みんなのマイルをあわせて使えるので、特典もあつという間。小さなお子さまも大人と同じマイル数*がもらえます。日本への無料航空券なら40,000マイルから、JALエグゼクティブクラスへのスタンバイアップグレード券ならわずか10,000マイル。アメリカ国内、カリブやメキシコ、ヨーロッパへの無料航空券もあります。そのうえホテルの特別割引、催し物へのご招待、お子さま向けの機内誌「こちらJALくらぶ」や海外生活情報誌「JALファミリーレター」をお送りするなど、暮らしに役立つ特典も盛りたくさん。家族そろっての空の旅…今年もJALで楽しいご旅行をなさってください。JALは、便利で快適なさまざまなサービスをご家族の一人ひとりにおとどけたいと思います。

JALファミリークラブ：JALのご家族向け特別プログラムです。会員になってマイルをためると、無料航空券などJALマイレッジバンク・アメリカスの特典ももらえるほか、ファミリークラブ会員だけのボーナスマイルや各種割引などの特別特典が受けられます。会費は一家族年US30ドル(40カナダドル)。詳しくは、1-800-525-6453へ。*子供連席の場合、アスリート席に設定した人と同じ連席標準料金を支払います。JALファミリークラブ、JALマイレッジバンクの特典およびプログラム内容は、予告なく変更される場合があります。

JAL

A WORLD OF COMFORT.

ご予約、お問い合わせは旅行代理店またはJALへ。
1-800-JAL-FONE (1-800-525-3663)

C O N T E N T S

オーロラ 秋

カナダのライフスタイル誌

1996年秋 第16号

ワインの秋です！ホームメイド・アイスワインの作り方	8
ぶどうの風味豊かな「私のワイン」	杉山園子
もっとL. M. モンゴメリ「モンゴメリ学会雑談記」	梶原由佳 12
「カナダで読む日本文学」永井荷風「すみだ川」	長井東美 18
UBC鶴田教授を囲む名作を読む会から	
さすらい中年ヒーロー伝、同世代の兄貴、石原裕次郎	20
「せめて、オスロの火祭りに」	高田たかし
「思い出のゴルフコース」藤井勇・堀田郁雄・唐木寛	24
大久保久夫・サム三次・酒井洋人・田村末夫	
マイク佐藤のいい湯だナ 馬の背に揺られて行く「デュワー川温泉」	28
「日本語パソコンの迷信とわな」	森貞一弘 32
チクチミまで、タドサク、サグネイ、サンジャン湖	34

秋のイベント・カレンダー	2	「アヒルの天国」	26
某月某日 半田宏治	5	カナダの学校で陶芸を教える	27
見たり聴いたり試したり	6	陶芸家・中村路子さん	
特派員の眼 上崎正則	14	「モネの家と庭」	30
日塔富夫の「映画エッセイ」	15	「オルガン」制作者4人にきく	31
「ビールの注ぎ方」 本田 修	16	「東京裏通信」 尼子三矢子	36
パリ、くたびれ日記 シェマーゆみ	17	未知との遭遇、エイリアンの卵？	37
ホワイトウォーター・ラフティング	22	「キッチン」ブルーベリー・ケーキ	38
石川義朗		OCS新刊紹介	39
私の不思議体験アラカルト 後藤順子	23	編集室から	40



表紙 小尾節子
デザイン 山本 博・野尻佳子
1部 3ドル50セント



ト
ロ
ン
ト

★イベント

▽カナダ国際マラソン

(十月二十日)

世界中から集まった選手がノースヨークからダウンタウンまでヤングストリート二十六マイルを走る。

問合せ (416) 392-1285

▽国際作家フェスティバル

(十月二三日〜十一月二日)

世界から八十名を超える著名な作家が集う。マーガレット・アトウッド、D. M. トーマス、ルス・レンデル、メイブ・ピンチーなど。ハーバーフロントセンター。

問合せ (416) 973-4000



マーガレット・アトウッド



D. M. トーマス

▽One of a Kind クラフトショー

(十一月二八日〜十二月八日)

クリスマスショッピングに最適。見るだけでも面白い独自のクラフトの数々。

Exhibition Place

ウィークデーは十一時〜十時

土曜は十時〜十時

日曜は十時〜七時

入場料七・五二ドル (税別)



★シアター

▽「ジェーンエア」

(十一月十六日〜二月一日)

シャーロット・ブロンテ原作。ジェーン役はブロードウェイの「レ・ミゼラブル」に出演した Maria Scharf。世界初演。ロイヤル・アレキサンドラ・シアター。

260 King Street West, Toronto

問合せ (416) 872-1212

1-800-461-3333

▽「ラグタイム」

(十一月十九日)



米国のユダヤ系作家ドクトロウによる「ラグタイム」をもとに Livent Inc. が脚色。「ラグタイム」は一九八一年 Milos Forman 監督による映画化で有名になったが、今回は舞台化世界初演。二〇世紀初頭、夢と希望に満ち満ちていた時代を描く。

フォードセンター。

5040 Yonge Street

チケットは (416) 872-2222



日新

NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.

航空海上輸出入貨物輸送／倉庫保管／トラック運送／

海外・国内引越し／事務所移転…その他何でもご相談下さい。

「運送のデパート日新」国際ネットワーク

日本国内、米国、イギリス、ドイツ、オーストリア、スペイン、イタリア、

香港、シンガポール、タイ、中国、ロシアの各営業拠点を結び

「NISSIN」による安くて、早くて、確実なサービスを提供致します。

TORONTO/ 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3

Tel: (416) 674-0503 Fax: (416) 674-0881

VANCOUVER/ #150 2501 Viceroy Place Richmond, B. C. V6V 1Y9

Tel: (604) 276-9691 Fax: (604) 276-0881

★展示

▽「クマ」に関する二つの展示
(九月二十九日～来年一月五日)

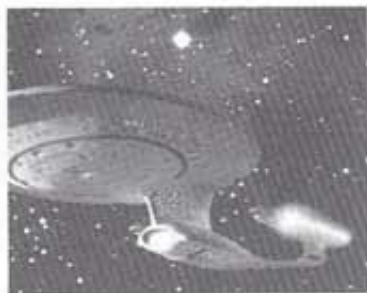
Bears: Imagination and Reality
My name is Nanug: The Diary of
a Polar Bear

Bearsは北米インディアン民間伝承に重要なウエイトを占めてきたクマの実態を明らかにする。北極クマに関する展示もあり。レブリカやさわられる標本、ビデオ、コンピュータゲームなどで、案外知られていない様々な事実が学べ、大人も子供も楽しめる。

ロイヤルオンタリオ博物館
(地下鉄ミュージアム下車)

▽スタートレック展示

(～十二月二十四日まで)



スタートレックのファンには見逃せない展示の数々。オリジナルのコスチューム、小道具、撮影のセット。エイリアンの宇宙

船も間近に見られる。プラネタリウム 110 Queen's Park (ロイヤルオンタリオ博物館隣り)
入場料: 大人十ドル、小人六ドル。

★コンサート

▽迫昭嘉 (さこあきよし)
ピアノ/コンサート



・十月二日(火) 八時
ドボルザーク五重奏 他
・十月二八日(月) 八時
武満 Liany 他

St. Lawrence Centre for the Arts
チケット大人三九ドル、三五ドル
問合せ (416) 366-7723

★映画

▽清口健二シリーズ

(十月十八日～十一月十九日)

シネマテク・オンタリオ主催で故清口健二監督の作品二十七本を上映。「残菊物語」「浪花井歌」「祇園の姉妹」の戦前の作品から「雨月物語」「山椒太夫の戦後の作品まで。「噂の女」

「夜の女たち」といった現代物も含まれている。

Art Gallery Ontario's Jackman Hall

問合せ (416) 923-Film

(N・B)



バンクーバー

★コンサート

▽バンクーバー・シンフォニー
今シーズンのききものはシベリウスとサン・サーンスのオルガン曲など(十月十九、二十一日)、「エルガーの夕べ」(十一月二、四日)、ラフマニノフとストラヴィンスキーのピアノ曲(十一月二十三、二十五日)
大作曲家シリーズ「メンデルスゾーン」(十一月十六、十八日)「ベルリオーズの交響曲をバンクーバー・ユースオーケストラとのジョイント・コンサートで(十一月三十日、十二月二日)オルフェウム・シアター
チケット (604) 876-3434

日新トラベル

NISSIN TRAVEL, a division of
NISSIN TRANSPORT (CANADA) INC.



出張、家族旅行、その他何でも

旅のことなら日新へご相談下さい。

TORONTO 42 Voyager Ct. N. Etobicoke, ONT. M9W 4Y3
Tel:(416)674-7057 Fax:(416)674-0881

★シアター

▽イブセン作「幽霊」

(十月十四日～十一月九日)

虚偽の結婚生活を続けなければいかに悲惨な結果を生じるかをえくつた三幕物。

ブレイハウス・シアター

問合せ (604) 873-3311

▽「Tons of Money」ウィル・エヴァ

アンス&ヴァレンタイン作

(十一月十八日～十二月十四日)

一九二〇年代に何とかしてお金を稼ごうとする人々を風刺したコメディ。

ブレイハウス・シアター

(604) 873-3311

★オペラ

▽「イヌーフア JENUFA」

(十一月二十三、二十六、二十八、三十日)

チエコの作曲家ヤナーチエクのオペラ。一人の女性の内面を描いた民族色豊かな作品。

クイーン・エリザベス・シアター

問合せ (604) 683-0222

★スペシャル・イベント

▽サークル・クラフト・クリスマス・マーケット

(十一月七～十一日)

いよいよ来月に迫ったクリスマス。今年第二十三回を迎えるこのクラフト・ショーは、カナダブレイス内コンベンション・センターで開かれるウエストコースト最大のクリスマス・クラフト・ショー。ハンドメイド、ホームメイドの作品が二百以上のブースにあふれる。カフェ、託児所、クリスマス・キャロル等のエンターテイメントあり。入場料大人7ドル、子供・シニア4ドル。

トレード・コンベンション・センター

問合せ (604) 737-9050

(M・K)

モントリオール



★イベント

▽ハローウィン

(十一月三日まで)

ハローウィンの起源をたずねる特別ショー。プラネタリウム

問合せは (514) 872-4530

▽植物園

・ランターンのマジック

(十一月三日まで)

チャイニーズ・ランタン・フェスティバル。上海から直輸入した九百以上のカラフルなランターンを集めて

・吉川リョーの紙人形展

(十二月一日まで)

問合せ (514) 872-1400

▽N.A. A.M.A.T. バザー

(十一月十日)

ちよつと変わった小物を見つけるバザー

ボナベンチャー・ブレース

問合せ (514) 484-0252

▽サロン・ド・ガストロノミー

(十一月三日まで)

ローカル材料、輸入材料を使った料理のデモンストレーション。有名シェフも参加。

ボナベンチャー・ブレース

問合せ (514) 344-6700

▽誰が本当のサンタクロースなの？

(十二月四日～五日)

クリスマス、サンタクロースの歴史と由来を展示。

考古・歴史博物館

問合せ (514) 472-9150

★コンサート

▽モントリオール・シンフォニー

グラランド・コンサート

・メンデルスゾーンとストラヴィンスキー

(十一月二十六、二十八日)

インゴ・メッツマケル指揮

・ブラームスの「バイオリンとチェロの二奏曲」とブルックナー

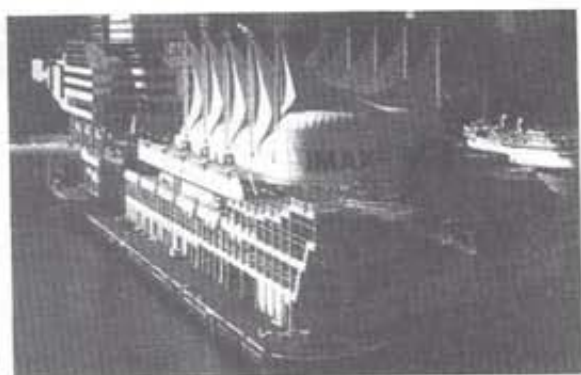
「交響曲九番」

フランツ・ポール・デッカー指揮

ブラス・デ・ザール

問合せ (514) 842-9951

問合せ (514) 842-9951



我が街トロントは考えてみると、一見特徴のない大都市ではある。東京や香港のような活気には到底及ばないし、ニューヨークの摩天楼と比べたらトロントの高層ビル群ははるかに小ぶりと言わざるを得ない。バンクーバーのような海岸線や丘陵の自然美に恵まれている訳ではないし、地下鉄、コンサートホール、博物館等々アメニティーは一応そろっているが、世界一とか北米唯一といったものは少なく、観光の目玉になるものがあまりない。他方この町にはスラム街がないし、道路や公園はゴミが少なく、「安全」で「清潔」というイメージが先行してしまっている。

昨年我が家で幼犬を飼いだしてから、自分のトロント観が少しずつ変わりつつある。つまりそれまで専らクルマで移動していたのに、飼犬の散歩で否応なく一日三キロから五キロ近所を歩くようになり、この自然な速度で街をもう一度見直すきっかけになったと思ふのだ。

来る日も来る日も同じ散歩コースというのには退屈なので、時々名もない小公園―トロントには沢山ある―をつき抜けたり、表通りを避けてレーンと呼ばれる裏通りを歩いたりして変化をつけている。その過程で抜け道を発見したり、当地では期待もしなかった銀杏の木を見つけたりと散歩も実に楽しくなる。元来この一帯はスワン

シー村と呼ばれていたコミュニティで、池あり、高台ありでトロントでは珍しい地形に恵まれている。私のお気に入りコースはパリセード路（崖の意）の高台の尾根づたいに歩くもので、この丘は百段の階段を一気に上がって到達するのが一番の近道だ。これはクルマでは絶対に発見出来なかつたルートであることは間違いない。又

某月某日

大都市村 Swansea Village

半田 宏治

近所のハイパークの池の周囲を歩くのも悪くない。但し真冬は一周六キロの大半をあのかきさらしの北風を受けながら歩くので散歩も決して楽ではない。

散歩の楽しみの一つは、通りに並ぶ家の一軒一軒を絵でも眺めるように鑑賞しながら歩くことだ。特にパリセード路に至る百段階段の両脇にある十軒程の家屋を見るのは楽しみで、石造り

の家や、コテージ風の家、チューダー様式の二階建等々各々が全く異なったデザインを競い合いながら、周りのかえりや塹の大木におおわれて緑に溶け込むような風情が悪くない。夏はアジサイ、ペイシエンス、ゼラニウム、サルビア等の赤、白、紫、青の花が今は盛りとばかりに手入れの行き届いた芝生を背景に咲き誇る姿は、この一角が特にすばらしいように思われる。冬は冬でどんなに雪が降ってもこの通りはいつも除雪がキチンとされていて、歩くのが楽しい。この住民の心づかいが手にとるように判るのだ。

しかし楽しみは高級住宅街に限らない。足をパリセード街より西に向けると、日本という文化住宅並に隣の軒先とぶつかるように接近して建てられた庶民街もある。裏通りを歩くと、一見すました表通りのたたずまいと異なり、洗濯物やホッケアの道具、パーベキュー、ミニ家庭菜園等々が目に飛び込んで来て、普段着の生活の臭いが分り、これもまた面白い。

そして究極の散歩の醍醐味は、飼犬を通じて色々な人と散歩道で声を掛け合うことかも知れない。最初は面倒臭がったり、照れくさかったりして声をかけにくいのが、週に何度か対面すると、自然と挨拶をかわすようになる。特に犬がいれば相手の愛犬をほめるだけで会話がはずむ。ハイパークの白鳥を餌づけするオジイさん、中国人の老

夫婦、ジョギングに励む健康指向の中年の奥様グループ、グレイハウンド犬の調教師等々お互いの名前もよく知らないのに朝一番通りで声を掛けるのも実に楽しい一時なのだ。

トロントは一見平凡で退屈な街かもしれない。誰だっただかトロントは「偉大な村」と呼んでいたけれど、言い得て妙である。私の住む区域も別名「白鳥海村」で、私の歩く四方数キロの範囲で言えば、人の息づかいも聞こえず、心づかいも見えない街でもある。私の感性から言うと、その対極にあるのはニューヨークハレムの「怒り」であり、ワシントンや東京霞ヶ関の「冷たさ」つまり最早人間の表情を失ってしまった官僚性の厚い壁である。少なくとも私の知るトロントはそうした冷たさや怒りとはいつまでも無縁でいて欲しいと思う。

やはり人間の住環境というのは単にお金をかけるだけでなく、鉢植えの花がそれとなく玄関先に置かれて、通り過ぎる人々の目を和ませる住民の心づかい、CAREがあつてはじめて成立するのではないだろうか？ トロントは見物するのではなく、住んで初めてその良さが判る街というのとはそういうことではないか？ この街を訪れるツーリストの方々には是非観光バスから降りて、一見つまらない通りでも街の表情をつかんで貰えたらと思うのである。



トロント最大の
インターネット・カフェ
DOTCOM Cafe
「ドットコム・カフェ」



今や世界中に出現しているインターネット・カフェ。トロントには何軒かあるが、今年四月にリッチモンドとダンカンの角にオープンしたDOTCOM Cafeは最大の規模を誇る。
インターネット・カフェのコンセプトは一般に、インター

モニターの上にある鬼太郎のお父さんみたいな「目玉」はビデオカメラ。このカメラとマイク、さらにCU-SeeMe (シーユー・シーミーと発音) というソフトを使うと世界のあちこちの人々と音声画像つきでコミュニケーションができる。



ネットをコーヒーでも飲みながら気軽に楽しもうというのが、ここでは一般のお客さんとは別に、企業の研修・会議やコンピュータ関連企業の製品デモなどに場所を提供するという、「会社」相手のプロモーションを積極的に行なっている。インスタラクター付きの二時間のビジネスランチなんていうのも用意されている。
またトロント大学の Continuing Studies のコンピュータ、インターネットのコースもここで行なわれている。奥には三千平方フィートに及ぶスペースもあり、主にコンピュータ関連のイベント会場として時々貸し切りを行なっている。

店内に入るとみんな黙々とコンピュータに向かっていて、初めてだとちょっとたじろくかもしれない。何か飲み物など注文してコンピュータ使用開始時間を記録してもらい、コンピュータの前に腰を落着けるといのが、お客さんの平均的な行動様式のような。何か教えてほしいと思ったら、スタッフを呼ぶと割と丁寧に教えてくれる。また、新着のCD-ROMが壁一面に揃っている。

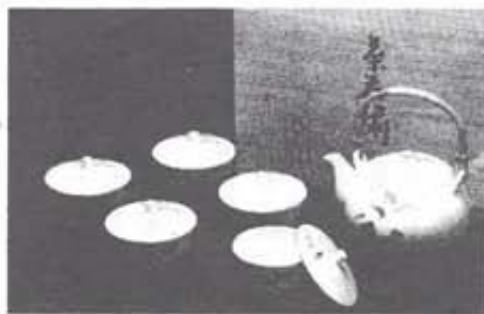
さて「カフェ」の方はどうかと見ると、メニューの名前には凝っているようで Yahoo burritoとか Virtual Veggie Burger などインターネットに関することが散りばめられているが、特に奇抜な食べ物というわけではなさそう。店の人によると今新しいメニューを検討中で、もっとバラエティーを増やす予定とのこと。

コンピュータの使用料は、三十分で会員三ドル九十五セント、非会員五ドル。またここでは電子メールのアカウン



57 Duncan Street
(リッチモンドとダンカンの角)
(416) 595-9999

和食器も豊富に取り揃えました。お気軽にショールームへお出かけください...



Noritake
CANADA LIMITED

90 NUGGET AVENUE, AGINCOURT, ONTARIO, CANADA M1S 3A7
TEL: (416) 291-2946 FAX: (416) 292-0239

◎アンドレ・ガニオン・ワンマン・ショー
有名人物まね Any resemblance to famous people
dead or alive

アンドレ・フィリップ・ガニオンの有名人物まねショーを
トロント、ロイヤル・アレクサンドラ・シアターで観た友人
から電話でショーの話聞いただけで、おかしくて涙が出
そうになった。それで早速別の友人を誘って観に行った。

ガニオンはケベック生れのフレンチ・カナディアン、八五
年にモントリオールのコメディアン・フェスティバル (Fest
for laughs comedy festival) で見出され、ジョニー・カーソ
ンの「ザ・トゥナイト・ショー」にゲスト出演、ラスベガス
やパリのカジノ・ド・パリ等、国際的にも活躍を始めたパ
フォーマー。台詞ではなく歌としくさの物まねで、ロックパ
ンドをバックに有名歌手が次々と登場する。一つのパフォー
マンスに百三十人以上、三百以上の声を使い分けることが出
来るそう。



ジャン・クレティアンの「おお、カナダ」、マイクを斜め
にしただけで彼の表情が出来る。
マイケル・ジャクソンの
「I used to be a star」、ジャクソ
ン・ファイブで飛び回って歌
っていた子供の時と今の二役の
使い分け。
○Jシン普森裁判は登場
人物のキャラクターを歌でカリ
カチュアライズ。

英国王室一家のトラブルを取り上げた「ウィンザー・ファ
ミリー」は四つの帽子を取り替えて、クイーン、クイーン
ズ・マザー、チャールズ、ダイアナの役割と心境を歌で演じ
る。チャールズの帽子は大きな耳付きの王冠。

サングラスをかけてビル・クリントン、テナーサクスの
音のコピー、サッチモ、シナトラ、プレスリー、ミック・
ジャガー、ジョー・コッカーと尽きるところがない。

笑いを求める観客中では満席。洪笑、爆笑の渦。ショーが
終わった時は全員立ち上がって拍手喝采。こんなことは滅多に
ない。英語のギャグや台詞が完全にわからなくても涙が出る
ほどおもしろい。ガニオンはマイケル・フォックス・タイプ

三十五歳。ただはしやぎまわるだけでなくちよびりペー
スがあるところがいい。久しぶりに「芸」を観たという満足
感を持った。(K・H)

◎秋冬ファッション96、70年代の復古調



マキシコート、ミニスカート、ヒップホーン・パンツ、
サイケデリック・カラー等と聞くと、何やらアルバムにある
若き日の自分の姿を思い出される方々もいらつしやるので
は・・・七十年代のファッションがまた今シーズンの
ファッションの一部になって戻ってきたらしい。

パンツスタイルは全体に細めのシルエツトで、丈はやや短
めのシガレットレグド・スタイル(ヤンキー)と膝まで身体
にフィットして裾まで広がったストロップ・パイプ・スタイル
(ラッパズボン)が一番ホットらしい。かなり身体にびつた
りとしたスタイルなので着心地を考慮される方向きではない
かもしれない。

コートのシルエツトも細めで、くるぶしまである丈の長い
もので、素材の生地は柔らかいものが主流である。そして七
十年代復古調パンツと合わせると九十年代のファッションに
なるそう。コートのデザインの中には着物のように前で合
わせたり、ミリタリー調の肩章の付いたものも含まれている。
ミリタリー・ファッションも今シーズンの流行に加わった。
しかし、このファッションにはロマンティックな感じもなけ
れば攻撃的な印象もない。その名残があるとすればカーキ色
やオリーブ色を使ったものがある程度だ。ポケットのアレン
ジや肩章を使っているが、全体の印象ではミリタリー・
ファッションというにはエレガントな仕上がりになっている。

最後に七十年代ファッションだけは勘弁してほしいとい
う方々には、今年ミラノやパリやニューヨークで評判のアクセサ
リーや飾り気のないミニマリズムはいかがでしょうか。上質
で柔らかいカシミヤやツイード、動きやすいジャージの生地
を使用し、クラシックな中間色系のモノトーンでパンツス
ーツやスーツを着こなせば、無難な着こなしを越えてエレガン
トにも見えてくる。(J・G)

ボクの店です お気軽にどうぞ オーケーギフトショップ 大橋巨泉



カナダ特産おみやげ類 カウチンセーター 各種セーター
宝石 アンモナイト 毛皮 革製品 各種ブランド



ナイアガラ店 ミノルタタワー前 6683 Oakes Dr., Niagara Falls, Ontario L2G 7G1 Tel: (905) 374-1100
バンクーバー店 1054 Alberni St., Vancouver, B.C. V6E 1A3 Tel: (604) 689-5513
バンフ店 P.O. BOX 1170, 209 Banff Ave., Banff, Alberta TOL 0C0 Tel: (403) 762-3133

「ワインの秋です！」



ホームメイド・アイスワインの作り方

杉山園子

ワイン作りのしやれたお店
D Vine Wine を見つけて



手作りのアイスワインを見せる店主のジニー・バトラーさん

メープルシロップ、赤毛のアン、ス
モークサーモン・・・？

カナダには「銘産」として誇れるも
のがないとはよく耳にする言葉です
が、この頃日本で話題になっっているの
がカナダ特産アイスワイン。

オンタリオ州のナイアガラ地域には
収穫の秋を迎え樹々の色づいた葉が落
ちはじめると、霜の降りる寒日が来
るのを心待ちにしているアイスワイ
ン・メーカーが沢山あります。日中暖
かく、急激に冷えた秋の一夜、つるに
ぶら下がったぶどうの粒の中に氷が出
来るとアイスワイン作りが始まります。

凍ったぶどうの種り入れからぶどう
液の抽出まで室温、機材とも冷温調節
されて生産されるアイスワインが市中
のりカーストアの棚に並ぶと、ここカ
ナダでは一本四十ドル平均というお値
段になります。日本では・・・？

しやれた夕食をいただいたあとのア
イスワインは大人のデザートとして人
気がありますが、家庭で気軽にたしな
むにはお値段が気になります。そこで
登場するのが、自分でアイスワインを
作ってしまおうという手作りワインの
思考。

☆お店に通ってワイン作り

自分の家で手間・暇かけて用具、機
材を揃え、本格的にじっくりワイン作
りに取り組んでいらっしやる方も大勢
おられますが、忙しい現代の世の中、
簡単思考のヤッピー族にはもっと手軽

に出来る方法が好まれます。

今回紹介する D Vine Wine はこん
な方にピッタリのお店です。手作りワ
イン・ビールのお店は職業別の電話帳
を繰っただけでも多数ありますが、こ
の D Vine Wine はワイン作りだけを目
指したちよっとしやれたお店です。

店主のジニー・バトラーさんは、オ
ペラ歌手といっても通りそうなく通
る声と体軀の持ち主。トロント・
ヒューマン・ソサエティの会長役やパ
レー・スクールのチャリティー、ロイ
ヤル・コンサーバトリー・ミュージッ
クの役員などで活躍している彼女の口
からは機関銃のように言葉が飛び出し
てきます。趣味で始めたこのビジネス
が海外への輸出にまで伸びてきている
というテンポの早さは、彼女を見てい
るとうなづけます。

アーストーンにまとめられたお店に
は、各種ワインの素(ワイン・キッ
ト)やワインに関係のあるクラフト、
小物、ゲームやグルメ食品等が置かれ、
家庭的な暖かさや女性客が気軽に踏み
入れられる雰囲気作りが配られてい
るのが伝わってきます。

☆ワインを仕込む

手作りワインといっても、とても幅
が広く、いわゆる普通のワインはリス
トとしてあるもので、赤十四種、白二
十種。ハウスワインからボジョレー
(Beaujolais)、キアンティ
(Chianti)、シャブリ(Chablis)、ボ



棚で醗酵を持つカスタマーのワイン



イーストを入れに来たシェパード夫妻

ルドー (Bordeaux) まで揃っています。特選品としてはポートワインやシェリー、アイスワインがあり、味見にと出してくださったワインを手に、だんだんのめりこんで行きそうな自分に気付くにはそう時間がかかりませんでした。

自宅でワイン作りをする場合は、場所や温度調節、機材等の調整と仕込みから段階を追う作業と日程の操作、それに醗酵が進むにつれ、臭いの問題があります。ボトルを開けた時のワインの香りはいいのですが、年中この香りが漂うと鼻につく臭いになりかねません。醗酵が進みすぎて蓋が飛び、赤ワインで地下室の壁が染まってしまったなんてことが起こることもあるそうです。

「あんな騒ぎはもうゴメンだわ」と笑う奥さんのスーザンさんを横に、今度はこのお店でワイン作りをすることにしましたという御主人のシェパードさんが、丁度赤と白のワインを仕込む所に出くわしました。仕込みといっても洗浄されたプラスチックのバケツに、ワインの下になる濃縮ジュースと醗酵が進む間に沈殿物を底に集める働きをするベントナイト (Bentonite) を入れ、水を加えたものにイーストを振り入れるという簡単なものですが、イーストだけでは法律で本人が入れなければならぬいと決められているそうです。

イーストが入ったら蓋をして醗酵時に出る空気を抜く亜硫酸塩 (Sulfite) の入った特別のキャップを、真ん中に

取り付けます。三段棚の上段に置かれた新入りのワイン種は二十四時間ほどで醗酵しはじめ、約十日目に中段に置かれた大びんの中に移し替えられ、ここで醗酵が止められます。これから約十日後には下段の大びんに、フィルターされた中味はそのまた十日後には、ガス抜きをしてワインボトルへの移し替えが可能になります。仕込みからボトルに入ったワインの形になるまで寝かせる時間を別にすると約三十日で作れるわけです。

ボトルへの入れ替えはお店に頼むことも出来ませんが、自分でしたい人にはボトル洗浄器からびんへの注入器、コルク栓・キャップをする機材が無料で使えるようになっており、店員のアンドレアさんが親切にアドバイスや手助けしてくれました。

丁度顧客のボニーさんがボトルの詰め替えをしていましたが、彼女はもう何種類ものワイン作りをしたそうで、注入器の扱いも手馴れたものでした。

D Vine Wine では予約制をとっているのですが、他の人と作業がかち合うことがなく、予約者が来るまでに必要な準備がしっかりとなされていました。

☆キャップやラベルを選択

話題のアイスワインの仕込みからボトルに入れるまで、約六週間と普通のワインの二倍の時間がかかりますが、工程は同じというものでした。

コルク栓をしたボトルたちには



ベントナイトを入れるアンドレアさん

キャップのお化粧がなされます。ここではボトルの色に合わせたキャップや好きなラベルの選択が出来るようになっており、結婚式やパーティー、企業の贈答品用などには特別のラベルの注文も出来るというものでした。

お店の奥半分を占めるワイン作りの部屋に並ぶワイン種の入ったバケツや大びんたちには「生年月日と保護者」の名前の書かれた札が付けられ、「元看護婦のジニーさんが「私たちは毎日入院患者の温度を計り、その日の様子を注意深く見守っているヨ」というのを聞くと、ここはさしずめ病院の新生児室と言ったところでしょうか。



さあ、これからポとリング

退院した赤ちゃんワインは、自宅で年月をかけて育まれるわけですが、ボトル詰めをしたワインは白が少なくとも三十日、また樽で寝かされたワインの風味に近づけるため、仕込みの時にオークの樹皮を入れた白ワインと、赤ワインは六十日、十〜十八度Cの室温で横倒しにして寝かせると味が落ち着いてくるそうです。

アイスワインは三ヶ月経つと段々甘みがまろやかになるそうです。ポトワインは六〜十二ヶ月必要ということでした。

保存剤の入らないワインはぶどうの風味が強いようですし、おまけに一本三ドルから高くても六ドルくらいで作れる「私のワイン」。今からでもクリスマス・プレゼントに間に合います。

寒いカナダの冬、暖炉に当たりながら手作りアイスワインはいかがでしょう。

ジョー・ラウチさんのICE WINE レシピ Do it yourself の方のために

コンピュータ・エンジニアのジョー・ラウチさんの趣味はアイスワイン・メイキング。毎年秋になると友人、同僚達の依頼分もきめて、自宅のベースメントはワイナリーになるそうです。何もかも自分でやって見たい方のためにラウチさんにアイスワインの作り方の秘伝をうかがいました。ぶどうジュース5ガロンをワイナリーまたはワイン・アート・ストアで求めてください。

- 1) 甘みをつけるためにジュース1ガロンを冷凍庫で冷凍させます。
- 2) 残りの4ガロンのジュースにテーブルスプーン一杯のイーストを加えて12日間おいて発酵させます。比重計を入れて濃度が0.8以下になるまで放置します。
- 3) 沈殿物を除くためにガラス容器の中にこし袋で搾りとり、硫化物4分の1テーブルスプーンを加え、ガラス容器のふ

たに空気孔をつけておきます。

- 4) 5週間後に2番目のガラス容器の中に搾り入れます。
- 5) 9週間後にまた別のガラス容器に搾りとり、硫化物を4分の1テーブルスプーンを加えます。
- 6) 16週間後にもう一度搾りとり、硫酸カリウム (potassium Sulphite) 2テーブルスプーンを加えます。
- 7) 1週間後に冷凍したジュースを加え、酒石酸 (Tartaric Acid) を酸の濃度が1.4になるまで足します。もっと甘くしたい時はワイン・アート・ストアで売っているコンセント・ジュースを約6オンス以上加えます。
- 8) 沈殿物を取り除くためフィルターします。ジュースがとても濃いのですぐフィルターが詰まりますから、フィルターを2つ用意しましょう。
- 9) ボトルに詰めて、8ヶ月間寝かしておきます。



ぶどうの風味豊かな「私のワイン」



【お店で作った場合のお値段】

レギュラーワイン（赤・白）

所要日数 30日 750mlのボトル 30本 90ドル

高級ワイン（赤・白）

所要日数 6週間 750mlのボトル 30本 115ドル

アイスワイン（赤・白）

所要日数 6週間 375mlのボトル 30本 150ドル

（保存可能期間は3～5年 ボトル代は別）

この他、月替わりお勧めワイン（10～15%引き）やシニア・シティズンの方への15%割引、ワインの交換などのサービスがあります。

また毎月、お料理のメニュー、ワインに関する引用句、クイズ、そしてワインクラスのお知らせが載ったニュースレターが発行されています。

ワインクラスでは英国のワイン研究家のメンバー、イボン・モルナーさんの下で、国別のテーマにそってLCBOから購入したワインとD Vine Wineで作られたワインとの味比べ（参加費当日25ドル、予約20ドル）が行われるとのことでした。

【ワインクラス】

10月のワインクラス 10月24日 ブルガリアとハンガリーのワイン

11月のワインクラス 期日未定 スペインとポルトガルのワイン

12月は1周年記念を兼ねた顧客対象のクリスマス・パーティーを予定。

ニュースレターの記事だけでも面白いですし、クリスマス用の小さなプレゼントが見つかるかもしれません。一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



	Dundas St.		
	Queenns way		
Hyontario St			Camthra Rd
	North Service Rd.		
	Q.E.W.		

D Vine Wine
YOUR PLACE OR MINE

場所 **D Vine Wine**

2041 Cliff Rd. Unit 6, Missisauga, Ontario.

(HWY 10とQEWの近く)

Tel.(905)848-8168



もつと

L・M・モンゴメリ

モンゴメリ学会雑談記

梶原由佳

この夏、あの「赤毛のアン」の島として日本の方にお馴染みのプリンスエドワード島へでかけた。目的はプリンスエドワード島大学にて開催された国際モンゴメリ学会出席である。紫色のルーピンズの花々が咲きほころぶ夏は、青い海に囲まれた赤土の島がもつとも輝く季節だ。

◎年々高まるモンゴメリ研究熱

さて、ルーシー・モード・モンゴメリ(1874~1942)といえば『赤毛のアン』(1908)で一躍作家としてその名を不動のものにしたものの、長らく子供向けの大衆作家というレッテルを貼られ続けてきた。ところが、彼女の死後五十年を経て、生前の彼女の膨大な量の日記が続々北米にて刊行されたことを契機に、近年モンゴメリ研究熱は文学関



係者の間では高まるばかり。ついには、一九九四年に第一回国際モンゴメリ学会が開催され、今年はその二回目とあいなったわけである。

かたい話はおいといで、学会参加の楽しみは、いろいろなひととの出会いである。モンゴメリの孫や親戚筋のひと達の話聞いて、いきなりモンゴメリ通になったような錯覚に陥ってしまう。驚いたのは、モンゴメリの長男チェスターの恋人だったというおばあさんが現われて、昔話を始めたことだ。モンゴメリ研究第一人者のグェルフ大学のメアリー・ルビオ教授やエリザベス・ウオーターズ博士との二年ぶりの再会もうれしかった。

◎世界一長い猫の死亡記事

いつもは超真面目なルビオ教授が、猫好き

左からウオーターズ博士、ジャック・ハットン氏、ケイト・マクドナルド (モンゴメリの孫)

の私に、「そういえばね…」とモンゴメリの息子のスチュワートの猫の話をしてくれた。この猫ちゃん、スチュワートが仕事で数日家を留守にしたことに腹をたてて、地下室のどこかに隠れてしまった。そうとも知らぬスチュワートの奥さんが乾燥機を回した途端にフギャーという叫び。ルビオ教授は猫のなきまねをしながら、「この後、猫ちゃんは長いことすねてたそうですよ」と笑って語ってくれた。

スチュワートも相当な猫好きだったらしいが、彼の母親モンゴメリにとって、猫はベツトならぬ最愛の友であった。晩年のモンゴメリの作品『丘の家のジェーン』(1932)は、十四年間も彼女の友であった愛猫グッドラックに捧げられている。愛称ラッキーは、プリンスエドワード島のキャンディッシュで生まれ、その後、オンタリオ州のリースクデルへ、ノーヴァルへ、そしてトロントへとモンゴメリとともに移り暮らした。ラッキーが亡くなるとモンゴメリは悲嘆にくれて、数十ページにわたる哀悼文を日記に書き連ねた。「世界で一番長い猫の死亡記事でしょうねえ」と溜息まじりのルビオ教授。

◎モンゴメリを通じて見る日本社会

ウオーターズ博士は、私が日本人ということから、「日本人のカナダ親に与えるモンゴメリの影響」のスピーチは興味深かったですね」と私に返事を求めてきた。この演題を発表されたフォーセット助教授は、プリンスエドワード島大学で毎年八月に日本人向けの英語講座を監督されていて、ご本人

は日本語べらべら。「モンゴメリを通して日本社会を観察するのはおもしろい」とのことだった。

モンゴメリ研究を地道に続けておられる方々の話を聞いていると、作品を通して知る以外のモンゴメリ像が浮かんでくる。学会は、すばらしいひととの出会いの場である。

◎土産物屋さんも学会に参加

別に研究者ならずともモンゴメリに関心を示すひとは多い。私の右隣に座っていた、島で大規模なお土産品を経営するドンおじさんは、にこにこしながら語りかけてきた。「日本人の若い女性はこういうアン人形が好きでしょうか。アン以外なら、どういのが好きかな？」と会う度に尋ねられて、さすがの私も閉口した。「モンゴメリは猫好きでした



モンゴメリが育ったマクニール農場への道

グリーン・ゲブルズ



から、アンより猫の人形を作ったらいかがでしょう」と助言しておいた。おじさんは「うーむ、そうか」とやたらにうなずいていた。売れなかつたらごめんなさい。

さて、辺りを見回すとカナダの各地、米国、スウェーデン、日本人の出席者が百名ほど、なかなかにぎやかである。テレビやラジオの取材陣も来ていて、ニューブランズウィックで発行されているテレグラフジャーナル紙の取材を受ける機会に恵まれた。モンゴメリ作品の魅力について長々としゃべらされたのだが、後日記事を見たら、ほんのちよつとしか私の意見は載っていないかった。新聞社には、すごいエディターがいるものと妙に関心してしまった。

学会期間中、島のお天気は最高だったのに、終了後の一週間は雨模様。レンタカーでモンゴメリが教鞭をとった三ヶ所の小学校やその跡地を訪ねてまわった。これらは、並のモンゴメリファンが行くような観光地化された場所ではないので、行く先々で村人から珍しがられた。

一体何が私を引きつけるのか？ 知れば知るほどモンゴメリの人柄と作品は奥が深い。「赤毛のアン」という作品を越えて、作者モンゴメリのことを調べていくうちに、さまざまなしととの出会いもある。というわけで、二年後に開かれる第三回モンゴメリ学会を今から楽しみにしている私である。





意外に？律義なカナダ人

海外で生活を始めたばかりの日本人駐在員がまず面食らうのは、現地の人たちが時間にルーズなことではないだろうか。メキシコ駐在の先輩記者が支局を移転することを決め、電話会社に電話の移設を依頼した。担当者は「来週に技術者を派遣する」と答えたが、待てど暮らせど待ち人來らず。先輩が抗議をすると、「来週は確実に行く」との返答。だがその週も空振り。といったことを繰り返し、念願がなかったのは以来の電話から三週間後だったそうだ。

カナダではこれほどひどい例はまずないが、それでも時間にはルーズな傾向があるようだ。機器の修理や注文品の配達などを業者に頼むと、「○○日に行く」と言うので、「○○日の何時？」と聞けば「サムタイム（いつか）」という答えが帰って来ることも珍しくない。当方は助手もいない完全な一人駐在なので、いつ来るか分からない先方を持つために支局を空けられない、といった不便がある。

ところが、電話での律義な対応ぶりにはいつも感心している。世界第二の国土面積を持つカナダを一人でカバーするということになる、急な案件では勢い電話取材に頼らざるを得ない場面が多くなる。しかし、目指す取材相手が常に電話の前にいるとは限らない。その場合、留守電にメッセージを残すか、秘書に伝言を頼むかするのだが、相手から電話がかかって来ないということは滅多にない。こうした律義な対応は、連邦・州政府の各省庁や研究所などの公的機関で徹底しているようだ。

だいたい以前の話だが、日本、米国、英国、カナダなどのかいくんがハワイ沖で合同演習（通称リムパックと呼ばれる）を始めようとした時、朝鮮半島有事の演習も行われるとの情報をイギリスの新聞がタダネで報じ、本社からの連絡を受けてカナダ国防省に確認の電話を入れた。しかし、担当者はハワイに出張中で事情が分からないとの返事。出張先にも電話したが本人は不在で、仕方なしにメッセージを残しておいた。担当者は演習で忙しかったのだろう。一週間たったある日、「メッセージを聞いたが、どんな用事ですか？」との電話が本人からかかってきた。

当方は最初の電話をかけた当日、別の筋から「特別な演習は行わない」との確認を得ていたので、用済みの話だった。しかし、こうした心遣いはありがたく、先方には「用済み」ということは言えなかった。



PATHFINDER

For the past decade, this Nissan's balance of off-road expertise and civilized comfort has earned it the reputation of the Authentics Sport vehicle.

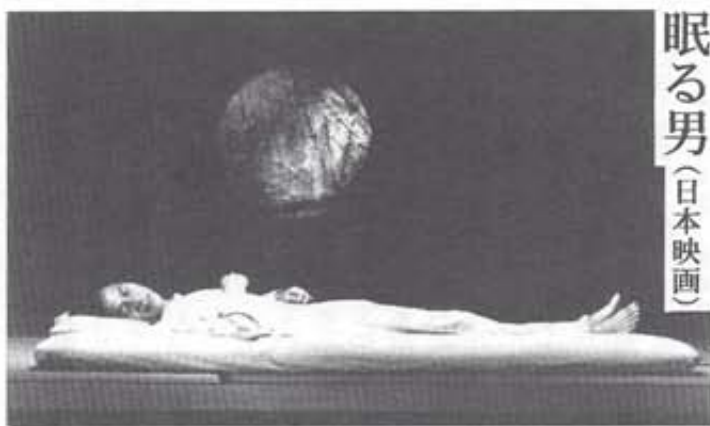
For a product brochure, please contact your nearest Nissan dealer or call 1-800-387-0122 (Monday to Friday 8:00 am to 8:00 pm ET)





日塔富夫の
「映画」エッセイ

眠る男（日本映画）



以下、僕の日記から。
9月10日

午後5時、病院。ギルさん、さらに青いボックスの機械装置をつけられ、右の側に体を倒し横寝になっている。そして両手はしっかりとベッドのバーを握りしめ、眠っている。時々いびき音を出しながら、その姿が痛々しい。両手でしっかりと握ったバーは意識の深い深いところまで支えになっているのだ。

ろうか……午後2時のエディーからの電話によると、病院側は点滴の中にモルヒネを今日から加えたらしい。それ程全身の痛みがひどかったのだ。もしかして、もうだめなのかもしれない。

ギルさん、うめきながら目をさます。オレとはもうろうとわかつているようで、「マイ・フレンド、マイ・フレンド」と、か細い声をしぼりだす。体をあおむけになるのを助ける。点滴は手の甲ではなく、右腕の肩下あたりにつけられている。エディーが5時45分に来る。ギルさん、目を開けていて、ベッドから出たいという。ナースを呼びイスに移してもらおう。それから3時間、イスに座ったまま眠り続ける。時々何かを感じるのか、手の甲で顔をゆつくりさすったりするが、また継続して眠りに入る。そんな様子を見てみると、赤子に帰ったようだ。今、彼の頭の中では何がおきているのだろうか。母親の体内で受精して生命が生まれ、79年の歳月が流れ、その命が終りに近づいている。その死の間、何が頭の中でおこるのだろうか。宇宙のビッグバン？

ギルさん、眠り続ける。今日の最後まで眠り続ければ一日生きのびたことになる。もう限られている。でも、これはオレ自身もそうであり、あらゆる生きていくものが限られた時の中で生きていくのだ。

眠り続ける。こうして眠っている間

も、体の中の悪い部分は眠ることなく体むことなく拡大しているのだろうか。9時、二人のナースが来てギルさんをベッドに移す。自分が何をされているのかはつきりしないようだ。両目をカッと開いて虚空を見つめているが、まだ眠っているようだ。

9月11日

8時40分、エレナより電話。ドクターから連絡があり、ギルさんの体はキャンサーが広がっており、今日が最後になるかもしれないとのこと。ついにその時が来たのだ。ギルさん、20年間自分の体をだましましたし、今日までひびつてきたわけだけれど、もうだませなくなりました。煙にはまだ、ポテト、ソイビーン、ピーツ、オニオンが収穫を待っているのに……

12時、病院。ギルさんは眠っている。モルヒネの力なのだ。のどの奥に何かからんでいるようで、音がする。このまま眠り続けて別の世界へ行くのだろうか。誰かがシエーブをしてくれたらしく、まだらだがヒゲがそつてある。眠り続ける。何を想い、何を考えているのだろうか。もう一度意識をもどして、もう一度言葉をかわしたいけれど、もう無理かもしれない。きのうの「マイ・フレンド」が最後になってしまっただろうか。午後3時30分、何回かナースが来て点滴の袋を新しくする。その動作が事務的でにこらしい。眠っ

ている。午後7時30分、ギルさんの呼吸がゆるくなったような気がする。ギルさん、ごくろうさまでした。サンキュー。眠り続ける。

以下、映画。

「眠る男」は、新鮮な不思議な映画である。物語としてのストーリーはなく、山の遭難で意識を失い、眠り続ける男を中心に、家族、友人、町の人々、そして風景、四季の移り変わりなど自然のありさまを淡々と映像にしたものだ。登場する人々はそれぞれに個人的であり、個性があり、ひとりとしての存在感を持っていて、オムニバスの人間模様が美しい景色の中でモザイクされる。会話もごく少なく、それらの会話も相手に向けられるというより、ひとりごとのように自然の空間に飛んでゆく。眠り続ける男は映画の最後まで眠り続ける。そして死ぬ。それにしても全体に流れるアジア色。霊とか、魂呼びとか、いろいろアミニズムの世界が色こく描かれている。そしてそれらは、僕が子供の頃の日本の地方社会に現実として生活の中に生きていたものなのだった。その意味では懐古趣味的である。

ところで、ギルさんは12日、朝1時に別の世界に行ってしまった。現在の「眠る男」を目の前に見てしまった僕には、この映画は、ただ美しいだけでなく、何もな映画になってしまった。

（イラストレーター）

ビールの注ぎ方大研究



「泡を立てる」ことがコツ

本田 修

「注文して三分以内に出てきたビールは突っ返していい」という条例がドイツにあることをご存じだろうか。

日本のある自治体がドイツに親善使節団を送った。レストランで「まずはビールで乾杯」となったが、なかなか出てこないの間が持てず困った、という話を団長から聞いたことがある。

世界中のビールの主流となっている「ピルスナー」とよばれるタイプのビールは、しっかり時間をかけてグラスに注がないとおいしくないのである。私がいかに気づいたのは、十年以上前のベルリンだった。酒場でビールを注文し、出てくるのが余りに遅いので「ビール、まだ？」ときいたところ、店のおじさんは不機嫌そうに「今、やってるよ」とカウスターの奥を指さした。そこには、泡でいっぱいになったグラスがあった。彼らのやり方をよく見ると、始めにサーヴァーからグラスにドツとビールを注ぐ。そうすると、当然グラスは泡だらけになってしまふ。それをしばらく置いておき、泡が静まってきたところで今度はそつと注ぎ足す。これを何度か繰り返した後、やっと登場となるのである。

日本を代表するビール好きで指揮者の岩城宏之さんもどこかにお書きになっていたが、ビールをおいしく飲むためには、この「泡をたてる」こと、つまり炭酸ガスを抜くという作業が大切なのだ。これをしないと、お腹の中があつという間にガスでいっぱいになり、すぐにビールが不味く感じてしまふ。そればかりではない。炭酸ガスを抜くことで、ホップの刺激がほどよく「まるく」なり、グラスの上でできた泡の層がフタとなつて、ビールが空気に触れて劣化するのを防いでくれる。だから、飲んでる途中で注ぎ足すことはご法度なのだ。泡のフタをこわしてしまふ。また、温度の違うビールが混じることで確実に味が落ちる。

正しく注いだビールは軽く爽やかで、何杯飲んでもおいしい。「缶ビールはまずい」という話をときどき聞くが、それは中身のせいではない。缶から直接飲むからそうなるのだ。

ビールの注ぎ方に目覚めてしまった私にとつて、残念ながら日本もカナダも余り幸せな国ではない。一度、日本の大ビール会社の広報部長さんと飲んだ時、「おいしい注ぎ方を宣伝したら、もつと消費が伸びるでしょう」とからんだことがある。しかし、部長さんが言うには、そういう宣伝は日本の「風土」に合わないのだそう。差しつ差されつ宴会文化、隣のグラスがちよつとでも減つていくと「ま、どうぞ」とお酌をする目配せ社会では、時間をかけて泡を立てるとか、途中で注ぎ足すとかいうのは余計なお世話らしい。それにしても、たまに仕事で赤坂の料亭などで食事をすると憂

うつである。和服姿の見るからにシブいお婆さんが、きどつた小さなグラスにちよびちよび注いでくれたりすると、思わず「もつと大きなコップを下さい！」と叫んでしまふ。さぞ、田舎者と思われるに違いない。

カナダはその点、気が楽だ。何より、自分で注ぐのが原則なので勝手にできる。ただし、お店の人が注いでくれるのには要注意である。たいていは泡が立たないように、そろそろトロリと注いでくれる。待たずにすぐ飲めるようにとのサーブスなのだろう。ピンに半端に残っていたりすると、ニコニコやって来て、ぱつとグラスに注ぎ足されてしまふ。だから、気をつけてウェイトーの手が届かないところにピンを置く。生ビールも安心できない。ほとんどの場合、泡がどうこうということよりも、グラスの口までなみなみと注がれている「気前の良さ」が尊重される。

ビールにはたくさんの種類がある。みんながみんな、泡が大事とは限らない。ケルンの地ビール「ケルシュ」のように、小さなグラスにトロリと注ぐ赤坂料亭方式が正しいビールもある。ビールも、それを飲む人間もやたらと種類の多いカナダでは、飲み方にこだわるよりも、サーブスの速さとおおらかな気前の良さが大切なのだろう。グラスの向こうに社会が見える。酒は文化である。でも、私の欲求不満は、当分続きそう。

(国際交流基金トロント)

日本文化センター

羽毛布団

Topperware



NOEVIR も取り扱っています。



m&s

TRADING OF CANADA

(905) 773-4508
FAX (905) 773-5151

アダチまで



宮原 一雄

24hrs

住宅の売買

MARKET CITY

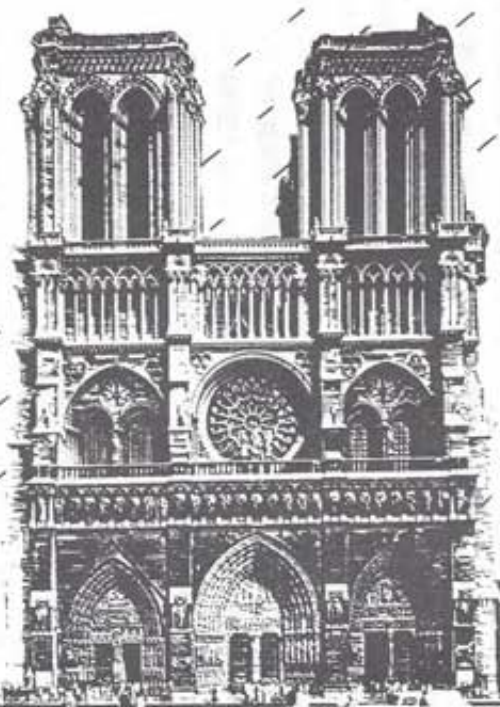
REALTY INC.

(905) 828-0766

Fax (905) 828-0439

3420 South Millway, #44 MISSISSAUGA

シエマーゆみ



ノートルダム大聖堂の南塔を登りつめた時は、さすがに息切れがした。なにしろ、八百年あまりの間、踏みつけられたこのらせん石段の真ん中は、擦り減って見事なくらい窪んでいる。登りづらいこと、この上ない。屋上に出てみると、寺院の修復工事中のため、まわりはステイルパイプと金網がめぐらされ、電気ドリルが耳をつんざく。ああ、ただでさえパリの街は交通騒音がひどいというのに、雨が降りしきる中、七月でもジャケットが欲しいほど小寒い。

パリの情緒を歴史あるノートルダムの南塔から味わう気分にもならず、そそくさと再び三百八十七段の狭い階段へもどった。地上に立った時は足のふ

くらはぎが泣いていた。(日頃の運動不足が恨めしい。)

大聖堂の出口付近で、傘を手にししばらくぼうっとしていると、若いカップルが私に近づいてきた。

一目でジブシーだとわかった。浅黒い肌、黒い髪、女は馴れ馴れしく私に擦り寄ってきて、傘に入り、

「アイ・ラブ・ユー、ヴェリー・マッチ」と英語で繰り返す。

ナイーブな私は雨が降っているから、傘に入れて欲しいのかしら)なんて思ったが、今度は彼女が両手を差し出したので、彼らが物乞いしているんだと、やつとわかった。

「ノー、ノー」と言っ、あとずさりすると、女はますます罔々しく、両手を私の目の前に差し出す。

「失礼なっ!」私は叫び、空いている左手で彼女を振り払うと、男と女はあつという間に走り去った。

気がつくとおなかにつけていたベルト・パウチのジッパーが半分口を開けていて中の財布が見えていた。ああ、スリのカッパルだったのか、もう少しでパカな被害者になるどころだったと冷や汗が出た。

それにしても、私の身体の真ん前にあるパウチを女が両手を差し出して見えなくし、一方で男がジッパーを開けて財布を抜き取るうとするとは、何と

いう巧妙なトリックだろう。おまけに雨のため、片手は傘を持っていて半分無防備な状態だった。

私たちはいやな後味を残したままノートルダムを去り、今度はループル美術館へと足を向けた。モダンな地下街を通り抜け、美術館の入り口に付くと、黒い鉄格子が重々しく立ちふさがり何だかいやな予感がする。そこには

「美術館員のストライキ中、閉館します」との張り紙があった。

鉄格子の前では黒山の人だかりが、散々悪態をついている。

「これが、典型的なフランス人さ。観光客がどれほどこの国に金を落としていくかなんて、全然ありがたくないのさ」と鼻息荒く言い捨てるアメリカ人。

「明日はパリを立つことになっているのよ。ループルを見られたいなんて、何のために来たんだか・・・」と噴く女性観光客。

仕方がない、もう帰ろう、と私たちはホテルに戻るため、メトロ(地下鉄)に乗り込んだ。

パリの地下鉄は薄汚れていて、暗くて、じめじめして、おまけに地下道はくねくねと曲がって天井が低い。地下道で小銭目当ての音楽家をよく見かけたが、これはトロントにもいるから珍しくない。

ところが、地下鉄に乗り込んで来て、一曲どころか二、三曲とアコーディオンを弾きまくる物乞い音楽家には驚いた。歩き疲れ、やつと座ってほっとした耳元で、アコーディオンをガングン

景気良く弾いてくたさること。ああ、演奏が終わると、彼は「がまぐち」を広げて乗客の間をまわり、しっかりと小銭を集めるのだった。

それから、乗客のファッシュンたるや、「えーっ、これがパリっ子?」というくらいダサイ。

七月にもかかわらず皆さん冬装束なのだ。まあ、確かに涼しい気候だったが、黒っぽいジャケットやセーターはあまりにも憂鬱だ。おまけにブーツ姿の人まで見かけた。いったいどうなっているの?カナダだったら短い夏こそバアツと夏らしく派手な色のTシャツ

や涼しげな格好を穿しむのに、Tシャツとショーツ姿の人々は間違

いなく観光客だった。(それも大抵はアメリカ人)。

くたびれきつた私たちは、三ツ星ホテルのハンモックのように柔らかいベッドで眠り、翌朝はひどい腰痛に見舞われるのだった。

カナダで読む日本文学

UBC鶴田教授を囲む名作を読む会から

永井荷風 「すみだ川」

長井東美

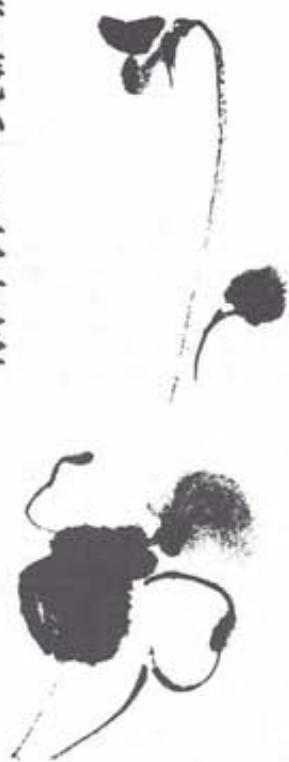
◎川にうつろう叙情の世界

作家は書き出し「冒頭の一節に苦心する」という。

「俳諧師、松風庵蘿月は今戸で常磐津の師匠をしている実の妹をば今年は孟蘭盆にもたずねずじまつたので、毎日そのことのみを気にしている」で永井荷風の「すみだ川」ははじまる。川を中心にした風景描写は実にこまかく、そこには音や匂いさえも伝わってくるような現実と、又逆にそれらを美化した叙情の世界が広がる。

UBCの鶴田教授によると

「荷風は言葉——ことだまを持った作家です。当時の情景を伝える絵もあり、写真もある。でも写真を見てこういう情景が出てくるかどうか。出てこない。この作家の写実というのは写真的風景



ではない。一つの花を語るにしても、その心をつかまえている。又微妙な音をとらえている。——下駄の音、職人の鼻歌、とうもろこしの畝に吹きわたる風の響き——普通の作家が逃がしてしまふようなこころいっただけ小さな音を克明に刻んでいるのです」

蘿月が渡る隅田川、長吉が眺める隅田川、お豊にうつる隅田川、三人がそれぞれ立場でそれぞれ目で見える隅田川は、のんびりとやさしく、そしてさびしく、時には気ぜわしく流れている。

妹、お豊を訪ねるために蘿月が渡る夏の終りの隅田川——葉桜の上に輝きそめた夕日の光がいかに涼しい。滑らかな満潮の水は「お前どこ行く」と流行唄にもあるように、いかに投げかけた風に心地よく流れている。

お糸を待つ長吉がみつめる初秋の隅田川——黄昏は幕の下がるように早く夜に変わった。流れる水がいやに眩しくきらきら光り出して渡し船に乗っている人の形をくつきりと墨絵のように染めだした。——一時は面白いように引きつづいて動いていた荷船はいつの間にか一搜残らず上流の方へ消えてしまつて——見渡す隅田川はふたたびひろびろとしたばかりか、静かに淋しくなった。外出することのまれな母親、お豊が見た春爛漫の隅田川——晴れ渡つた空の下に流れる水の輝き、堤の青草、その上につづく桜の花——渡し船から上り下りする花見の人の混雑。——つかれた母親の目にはあまりに色彩が強烈すぎるほどであった。

◎記憶の中の遠い過去の人々の面影

「すみだ川」を読むかぎりにおいて、永井荷風の人物像についてまわる好色とか吝嗇というイメージは一切拒絶される。

人を寄せつけず、家族を持たず、日記には日用品の値段を細かく記し、金銭にうるさく、浅草に通い、女給を愛し、一生涯を終えた作家というイメージを長い間持っていた私は不思議な感慨をもって、この「すみだ川」を読んだ。

「すみだ川」は一九〇九年（明治四二年）に発表された作品で、アメリカ・フランスからの留学を終わって帰国した直後、自然主義が主流を占めていた当時の二本の文壇に新鮮な風のように送りこまれた。

作中の人物は実在のモデルではなく、作者の言葉をよると

「隅田川の風景によつて偶然にもわが記憶の中に蘇り来たった遠い過去の人物のまさに消え失せんとするその面影をと捉えたにすぎない」

又作者が

「小説のすみだ川に描写された人物及び市街の光景は明治三十五、六年の時代である」と後半述べているように、小説「すみだ川」は現実の隅田川が徐々に汚染されてきた頃、過ぎた日を思い出しながら書かれたもので、それ故に現実を少し離れた虚構の世界の叙情詩のようになっている。



◎主人公は隅田川

いつものように鶴田教授に解説していただく。

「隅田川というのは、我々日本人の心の中にしみついているもの—文化的遺産であって、したがって小説「すみだ川」も文化遺産の中に連続して生き続けている川に命を与えられながらの物語です。そう考えるとこの小説の主人公はひよつとして長吉ではなく隅田川かもしれません」

「お糸に惹かれる長吉の気持ちを情景と融和しながら描いて行く。女性を描く場合も背後にある情景を分かちがたいほど融和してしまう。そこが永井荷風の特長で、それを見まちがえるとやはりこの荷風文学というのは、足元から逃げて行ってしまうのです」

荷風自身「溟東綺譚」の中で「小説をつくる時、わたしの最も興を催すのは作中人物の生活および事件が開展する場所の選択とその描写とである。わたしはしばしば人物の性格よりも背景の描写に重きを置きすぎるような過ちに陥ったこともあった」と記している。

この背景の描写に重きを置き、その中に人間の心をからませていく手法が「すみだ川」をより詩的なものにしていくのかもしれない。

「物語が歩く土地を登場人物についてゆつくり歩いて行くこの性格がわいてくるのです。それに浸ることが出来れば荷風文学に浸ることが出来る。これを近代の人間性とか、女性蔑視とか

言いだすと荷風文学というのは消えてしまうのです」

◎社会通念とそれに反抗する心と

「まっとうな人間になれ。お金のとれる人間になれという母親、それは嫌だという長吉、有能な人物になって社会のためになる—こういった理性に對し、なぜ自分はそうならなければならないのか、これが荷風文学の最初から終りまで流れている精神です」

俳諧師蘿月—有能で社会に貢献するという意味に於いては無用の人間、先祖代々の質屋を継がず道楽に走った人間、蘿月の妹、お豊—一人息子を大学へやっつて新時代を担う人間になって欲しいと願う母親。

長吉—母親の期待をよそに学業を嫌い、役者になりたいと思う息子。

お糸—長吉の恋人、芸者になり長吉の手の届かないところへ行ってしまう。

この構図の中に出てくる二つの力、理性—すなわち社会通念をよしとする力（お豊）、それとそれに反抗して生きようとする力（長吉）。

考えてみればこの相対する力は荷風文学によらずとも私達の日常の生活に常に見られるものであり、それだから永遠のテーマにもなるのかもしれない。私達個人の心の中にさえ、大ききこ違うけれど、常に宿っているものではないだろうか。立身出世をし社会合格者である荷風の実父でさえ、その心の中が百パーセント儒教の精神で割り切



れていたかどうかはわからない。道楽のために先祖代々の質屋をつぶし、俳諧師として生活を楽しむ作中の蘿月にしてもその心の中にいくばくかの公開がなかったとは誰にも言えない。

社会通念にのつとつて生きるか、したいと思うことに向かつて自我を通ずるか、この大きな選択を支障なく出来る人もいれば、出来ない人もいる。多くはその中間で生きているのではにだろうか。

長吉が母親の期待を裏切っても役者になりたくて、昔、道楽で実家を助当された伯父、蘿月に相談に行く。ところが理解があるだろうと期待していた伯父も「母親の心を察してやるように」とわかりきったことしか言ってくれない。

—長吉は人間というものは年を取ると若い自分に経験した煩悶、不安をばけろりと忘れてしまつて次の時代に生れてくる若い者のきわめて無頓着に訓戒批評することの出来る便利な性質を持つているものだ。年をとつた者と若い者の間には到底一致されない懸隔のあることをつくづくと感じた—自由人であったはずの蘿月が自由人にこれならなりたがっている長吉に向かつてさすこの場面では、蘿月さえ社会通念にしたがつていく様子が描かれている。

しかし一度長吉を説得したものの、蘿月は—長吉が出水の中を歩いて病氣になつたのは故意にしたことであつて、全快する望みはもう絶え果てているような実にはかない感じに打たれた。自分は何故あの時あのような心にもない意見をして長吉の望みを妨げたのかと後悔の年に迫められた—自分はどうしても長吉の味方にならねばならぬ。長吉を役者にしてお糸と添わしてやらねば親代々の家を潰してこれまでに浮世の苦勞をしたかいない—長吉、安心しろ。おれがついているんだぞと心に叫んだ—で、この小説は終る。

この叫びの続きはわからない。ただ蘿月が叫んだとてそう簡単に長吉が芸者となつたお糸と結ばれることはないだろうと思うのは私自身、社会通念をもつてよしとするいたつて常識的なわくの中で毒されているということだろうか。それにしてもこの蘿月の最後の叫びはハッピーエンドを期待するには何か弱々しく淋しい。

おそろひ中年ヒーロー伝

「せめてオスロの火祭り」

同時代の兄貴 石原裕次郎

高田 たかし

この春東京で、ノルウェーのオスロで旅行代理店を営んでいる日本女性に会う機会があった。こっちはオスロと聞くと「火祭り」と短絡的思考をするので、早速聞いてみた。

「あのー、オスロの火祭りというのはー」
小柄な美人で、テキパキを絵に描いたようなその人は答えてくれた。

「あつ、あれネ。石原裕次郎の歌でしょう？
あなたのような年代の人によく聞かれるのよ、でも、火祭りなんて、そんなもの無いのヨ」

□世界を馳ける恋

初のヨーロッパ・ロケ観光という歌い文句で、裕次郎主演の「世界を馳ける恋」という映画が公開されたのは、昭和三十四年のこと



だから、こっちは未だ中学生だった。前売券を買って、こっそり友人に見せたら、
「お前、石原裕次郎なんて好きなのかヨ」とばかにされた。太陽族、不良、良くないことというイメージもあった。それでも、その恋物の映画を見たし、主題歌もすぐ憶えた。
(浅丘ルリ子が綺麗だったことー)

その二番目の歌詞に「せめてオスロの火祭りに、踊り明かして君に書く便り切なや、旅の宿」というのがあって、以来三十数年、シャワーの中で歌う「持ち歌」になってしまっている。こっちの頭の中ではオスロと聞くと火祭りの条件反射がかんぜんに出来上がっている。

そのオスロの女性は、今までも何人もの人に、それも「あなたのような年代の人」に火祭りのことを聞かれていることになる。そして

で、そんなものは無いと告げられて、みんながホントに？と失望したのではなからうか。中学生だったこっちも、未だ見ぬ外国のオスロで、裕次郎が金髪の美女とでも踊り明かす火祭りの夜——なんて想像をたくましくして、何とロマンティックなものだろうと思っただけである。それを、今になって「そんなものは無いのヨ」と告げられることは！もし裕次郎と来世でも会えたら、この話をしてみたい。

□足の長さにあこがれる

裕次郎の映画での役柄は、活発な明るい青年というタイプと、暗い過去を持つ男に分かれるが、こっちにとっては見る映画すべてがよかったし、裕次郎は格好のよいヒーローだった。肩をいからせて、まぶしそうに太陽を見上げたり、片足を港の突堤のブイに懸けて海を見つめたりするポーズを真似した。足をあげるポーズは、でも、裕次郎の長い脚だからキマっているわけで、その辺には問題は残ったけれど。

それにしても、足が長いということに我々はこだわりすぎていないだろうか。股下が何インチなんてことにこだわっても仕方がないのでは？少し足が長いからといって、人生にどれだけの影響があるのだろうか！——なんて今だから言えるけれど、あのころは裕次郎の股下が三十二インチで、それにひきかえ自分のは、と真剣に悩んだ。一番ショックだったのは、ある時街を歩いていて交差点の向こう側のガラスに移った足の短い、チヨコチヨコ肩を振りながら歩いてくる男が自分の姿だと気付いた時で、十八歳くらいだったろうか、あれ以来股下の問題にはあまり触れない方針を変えていない。

TRÉQUIEM 裕次郎



□今でも口ぐせ「俺」と「おいら」

最近じくなつた渥美清の寅さん映画が松竹の社員の毎年二回のボーナスを稼ぎ出していたなんて話をどこかで読んだけれど、裕次郎はテイチク・レコードにとつてそれ以上の存在だったのでなかるうか。ちよつと思ひ出すだけでも、「俺は待つてるぜ」「嵐を呼ぶ男」「風速四十米」「赤いハンカチ」「夕陽の丘」「銀座の恋の物語」「夜露も今夜も有難う」「ブランデー・グラス」とヒット曲がどんどん浮かんてくる。死後のヒット曲「北の旅人」まで五百曲以上レコーディングしているそうだが、こつちは人氣の最盛期はやはりラジオから流れる歌に聴き入った。

おれはまつてるぜーとか、おいらはドラマー、やくざなドラマー、など随分口ずさんだ。そのせいかこつちは今になつても自分を呼ぶ時は「ボク」ではなく、「俺」であり、「おいら」である。幼少の時の教育が良くない

いとどという結果になるかのよい見本だ。

□テレビ時代の裕次郎

学生時代も終り、社会人になつてからはいろいろな面で忙しくなり、我がヒーローとも縁が遠くなつていった。裕次郎は石原プロで対策に情熱を燃やしていったが、こつちは映画だけでなく、音楽、演劇、その他間口が広がってゆき、たまにテレビで見るぐらいになつてしまつていた。

最初は歌番組でしかテレビに出なかつた裕次郎も、テレビドラマを作り始める。だから裕次郎をテレビで知つてゐる世代も沢山いる。「太陽にほえろ」「西部警察」のシリーズで高い視聴率をあげている。そのころこつちはカナダに来ていたので殆ど知らないが、昭和五十六年の「奇跡の生還」騒ぎもテレビでの新しいファン層も大きく貢献していることになる。映画制作で行き詰まり、テレビに転向して大成功したという幸運な男である。

□電光ニュースで知つた裕次郎の死

裕次郎の死は、たまたま訪日中、猛暑の中渋谷駅前を歩いていて電光ニュースで知つた。横断歩道を渡りながら、びっくりして足の力が抜けていったのを憶えている。その晩も翌日もビールを沢山飲んで追悼した。悲しかったことは、中年の今まで幾つかあるけれど、裕次郎の死はホントウに悲しかった。

ヒーローは何を残してくれたのか。

ただ格好よさにあこがれているうちに、いつの間にか生きる上での姿勢を忠告してくれていたか、目標になつていてくれたこともあるが、それより何より、同じ船に乗つて同じ夢を見せてくれたことが一番だつたと思う。同時代にいたつもりが、でも、先に逝つてしまつた兄貴かなア。

裕次郎自慢のベンツ三〇〇SLのスपोर्टスカーを含めて、生地の小樽にある裕次郎記念館にいろいろゆかりの物が展示されているらしい。今度訪日の機会があれば足を伸ばしてみたい。

PS—

オスロの火祭りについては、トロントの西村昭子さんは、妹さんがオスロで火祭りを見たと言つている。

ニューヨークのスカンジナビア三国の観光局に電話すると、夏至の時、ノルウェー各地でタキ火をする風習はあるけれど、それを火祭りとは言わないとの答であつた。

御存じの向きは編集部まで御一報いただけたらと存じます。



パドルに魅せられて ホワイトウォーター ラフティング

石川義朗



身仕度をして、弄流に挑戦

ユニバーサル映画で「リバー・ワールド」という作品がある。断崖や渓谷そして岩場を舞台にしたサスペンス映画だ。オスカー女優のメリル・ストリープが家族の危難に立ち向かう母親役を演じ、果敢なオールさばきで激流を下るシーンが圧巻である。

そこで、人からも色々聞かされていた「ホワイトウォーターラフティング」なるものを自分でも体験したいものとお機をうかがっていた折、幸いにも時事通信の上崎記者と意気投合し、

この八月半ばの週末それへの初挑戦と相成った。

場所はオンタリオとケベックの州境にあるピーチバークという川辺の町で、牧歌的なたずまいが都会の喧噪を忘れさせる。そばを流れるのが全長千三百キロに及ぶオタワ川で、昔は毛皮商人達が小舟を操り、カナダ建国の歴史のひとつを演じたことであろう。

トロントからは片道四百キロの遠距離なので、前の晩は近くの民宿に一泊する。翌朝パドリング・センターに集合し、登録を済ませる。キャンパーのテントやロッジが散在する広場に集団で腰をおろし、安全上の注意事項を聞く。そのあとパドルとヘルメットと救命胴衣を借りて身につけ、上流までバスで移動する。

ゴムボートはそれぞれガイドがつき、船の左右に漕ぎ手六人ずつが配置につく。そして計八隻で船団を組む。男子の参加者が大多数を占めるなかで、その日はたまたま元気のいい女性グループと相乗りとなった。十二人の漕ぎ手のうち我がボートの男性は船尾をまかされた日本人二人を含む四人だけ。川に漕ぎ出す前から船同士でバケツで水のかけあいが始まり、ほぼ全員がすでにびっしょり。それは言わば「船の仲間」意識を昂揚させる洗礼のようなもの。水をかけられたら笑ってこちらから「お返し」をすればよい。ただし余りエキサイトすると隣の船に飛び移

り、相手を川に突き落とすような挙に出る輩もいるので、要注意。まこと若者の熱気があふれる舞台ではある。

初めは川幅は広く、流れはゆるやかで、兩岸の緑は深く濃い。瘦身を筋肉質のガイドが船首にいて、パドルの使用法やなにがしかの注意を我々に呼びかける。船尾から我が女性軍団をまぶしく見遣りつつパドルを繰っていると、やがて前方に最初の難所が出現する。川幅が狭まり、流れに落差があつて、岩場で白波が活発に踊っている。ガイドからは攻略上の説明がなされるが、「もし落ちたときは右岸に向かって泳げ」などと念入りなアドバイスもとぶ。船首を正面にまっすぐ向けると同時に、ガイドの号令一下十二人がパドルをフル回転、逆巻く激流につんのめるように突入する。頭上から洪水の襲来、そして女性の悲鳴。船は水の下をかくくくって、次の瞬間、軸先をつき上げるようにして立ち上がり流れを乗り切る。まさに不安と緊張と絶頂感とが交錯する一瞬である。

船漕ぎの合間には、高い岩場から急流に飛び込む「肝だめし」などもあつて、女性を含め若手が次々と挑戦する。押し流されそうになると、岸からロープが投げられ、声援が飛ぶ。川原でのバーベキュー・ランチをいれて夕暮れまでの「熱い」川下りであった。(ジェットロ・トロント・センター所長)

ふと、誰かのことを考えていたら、偶然その人から電話がかかってきたり、夢で見たことがあまりリアルで、ただの夢と思いたい時や、後でそれが本当に起こったり・・・たぶん偶然だろうと無理に自分に納得させて忘れていくことって、あなたはないですか。

こんなことが気になりましたのは、今から十一年前、日本文化をカナダの子供たちに紹介するプログラムに一年の予定で参加してアルバータ州の小さな町にいた時であった。ある日、同じ仲間の友人に誘われてエドモントンにあるウエストモールに出かけた。そこでまだまだインディアンのおばさんに占ってもらったことになった。布袋に入っている文字のような絵が描いてある小石をいくつか私に取り出させて、それで占ってくれたと思う。今でも覚えているのは「あなたは二年以内にカナダで生活を確立するだろう」と言われたことである。そのころ私は一年以上カナダに滞在する予定はなく、その二ヶ月後に現在の夫と出会い、約一年後にはカナダに永住するようになることは誰が想像出来ただろうか。もう一つだけ覚えていることは、「あなたがふと思ったことが後で本当に起こっても恐がったり驚かないでね。なぜならあなたにはある種のサイキック・パワーがあるのだから」と言った。「それで

は試しにあなたの手相を見てあげる」と調子よくいうと、本気で手を差し出してきた。適当に言ったのに、わりと感心してくれて私の見料をただにしてくれたのには自分でも驚いた。このことを一緒に行って見ってもらった友人にいうと彼女は怒ってしまった。なぜなら彼女はしっかりと見料を取られたそ



私の 不思議体験 アラカルト

後藤順子

うだ。

四年前、一時帰国で神戸の実家にいる時、不思議な夢を見た。

何年も昔の絶えた夫の友人が、夫にとっても会いたがっているのである。夢の話しを夫にして、何とか連絡をとってあげると頼んで、少ない情報を頼りに富山の友人の実家に電話すると、

彼のお母さんが出られて、言いにくそうに今、精神病院に入院しているの、家にいないと言われた。そしてカナダに戻ってから手紙が届いた。それには、病院でカナダ時代に仲よくしていた夫に会いたいといつも思っていたと書かれてあった。その後彼は元気になって普通の生活をしている。

この夏の終りのロングウィークエンドにグラフトンにあるカントリー・インに一泊二日で夫と出かけた。広々とした農場の中にあり、ホットマッドバスやマッサージをやってもらい、久しぶりに二人でテニスをしてリラックスしたせいか、いつもよりかなり早く眠ってしまった。

その夜、私はとてもリアルな夢を見た。三人の女性達が自分達の思いを誰かに伝えてくれるように言っているのだ。最初は若い女性で、自分の母親に理解してもらえない心の痛みを誰かにわかって欲しいと。次は中年の女性で自分の夫に暴力を加えられて胸に怪我をしたことがあるようで、怪我した痛みより心の痛みを訴えた。最後は初老の女性で癌の患者さんらしい。彼女は医者に癒を直して欲しいと頼んでいるのではなく、少しでも体と心の痛みを理理解して欲しいと言った。私の知る限り周囲にこのような人はいないと思う。しかし、あまりにリアルであるので、ただの夢だと忘れてしまうには抵抗が

ある。かといって誰に伝えたらよいのか、分らないのでとりあえずここに書いておいたのだが、いったい誰のことなんだろう。ここには有名な幽霊の話もあるのだが、私には彼女らがとも過去の人たちには思えないのである。たまたまこのカントリー・インにいた人たちの中にそのような人たちがいて、夢の中で彼女たちの思いをキャッチしてしまったのが。

こんなことをサイキック・パワーと言うのなら、誰にでもあるはず。または、あつたはずである。電話やテレビやラジオのない太古の時代にも人間は生きて、狩をしたり農耕をして子孫を残し、時には民族の大移動をしたり、巨大なピラミッドまで作っているのだから。

情報時代に生きる現代人にとってはいち早く多くの情報を得ることが大切と誰も疑っていないようだが、人間にはそれぞれに生まれ備わっている普段気がつかない力や知恵があっても不思議ではない。秋の夜長、時にあなたの内なる声じっと耳を傾けられたら、まだ発見されていないあなたらしいオリジナルなアイデアが見つかるかもしれません。



思い出のゴルフコース

アリゾナにはこの他に「トルーン・ノース」というパブリック
で有名なコースがある。 (キャノン・カナダ・カルガリー支店長)

◎ハワイのゴルフはまず海の方を確かめてから

藤井 勇

オアフ、マウイの二島で何回もゴルフをしたが、中でも印象に残るのがマウイ島のカバルア・ゴルフ・クラブの三コースの一つ、ザ・プランテーション・コースである。ザ・ビレッジ・ベイの他の二コースに比べて新しく、起伏の多いコースである。例えばあるホールは四百五十ヤードでパー4という不可能に近い距離間である。これは坂になっていて転がって三百ヤードくらい飛んでしまうのである。こんなように思いがけないことが起こるのがハワイのゴルフコースである。

ハワイでゴルフをする時の注意としては、まず海がどこにあるかを確かめること。海に向かって草が生えているので、どちらに海があるかでボールの転び具合が違ってくる。坂の上の方向に海があると、ボールは坂下でなく、坂上に転がる。グリーンを読む前に常に海がどこにあるかを確かめなくてはならない。第二は風が強いので低いボールを打たなくてはならない。高く打つと風を持っていかれて距離が出ないからである。ハワイのゴルフ場料金はどこでもたいがい外来者は百ドルくらいですが、住民だと三十、四十ドルでプレイ出来ます。

(東京ツアーズ社長)

◎隠れたゴルフ天国フランス

堀田 郁雄

七八年から八七年、九十年から九四年と前後二回、十三年間いたフランスは日本人にとってヨーロッパの隠れたゴルフ天国である。パリ周辺だけでも二十コースがあり、その中の十五コースくらいはバブル時代に日系企業が作ったコースである。日本式のお風呂や日本食レストランのクラブハウスがある。バブル以後は供給過剰で競争が厳しくなり、サービスがいたってよい。コースが混んでいないので、ゆっくりプレイが出来る。本場の英国よりもずっと素晴らしいコースがある。

私が会員だった地産カントリー・ゴルフ・クラブはパリから

オルレアンの方角に四十分ほどドライブしたところで、出来てから二十年近くの歴史がある。フランスは木を一本切ると二本植えなくてはならないので、林間コースは木が多くフェアウエーが狭いので難しい。栗の木が多いので秋のシーズンにはゴルフをしながらかき拾いをしたこともある。ゴルフはフランスではプレステイツジの高いスポーツであるが、最近では海外駐在経験をした人たちのゴルフブームが増えたようである。

(カナダNGKスパーク・ブラク社長)

◎私のベスト・スリー

唐木 寛

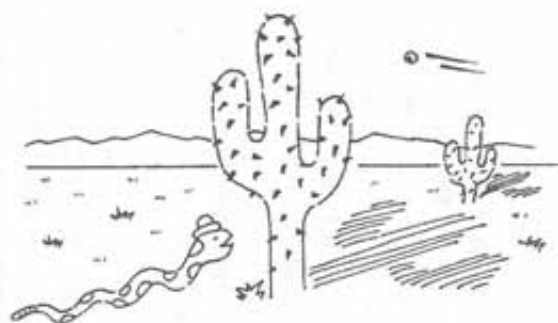
八一〜八七年にいたシカゴに好きなコースが二つある。バトラー・ナショナルとケンパーレークスで、どちらも水に近く、シヨートホール、パー3の浮島があり難しいコースである。バンクーバーで好きなのは、シヨーンシー・ゴルフ&カントリー・クラブ。ホールごとに植えてある木の種類が違うのでその林の景観が素晴らしい。植物に詳しくないので名前が判らないが、針葉樹もあれば花の咲く樹もあり、プレーをしていても気持ちが良い。(カナダ住友商事SVP、バンクーバー支店長)

◎デザートマウンテン・ゴルフコース

サム三次

アリゾナの親戚に招かれて毎年十一月頃にデザートマウンテン・ゴルフコースに出かける。州都フィニックスから五十分程離れたケアフリーという小さい町にある。名前のようにデザートの中のコースで、ジェロニモ、コチス、アパッチ、レネゲイトと土地柄にちなんだ名前の四コースがあり、現在もう一つ新コースを建設中である。

プロショップから見たゴルフ場の眺めは壮大でただアツというばかり。がらがらヘビがいるのでボールがコースから外れても拾わない。大きなサボテンの中にボールがめり込んでいる。



世界中に会員が散らばっているのに、空いていていつ行っても出来る。日本人のメンバーは私の知る限り、二人だけのようだ。アリゾナにはこの他に「トルーン・ノース」というパブリックで有名なコースがある。

(キャンノン・カナダ・カルガリー支店長)

◎セント・アンドルース 中島バンカーで息子が練習

大久保久夫

八八年の夏、家族でスコットランドに旅行した時、セント・アンドルースに行き、オールドコース十八ホールを長男と一緒に回った。私は英国人二人と組んでプレイし、当時九歳だった長男はキャディーについて回ったわけである。オールドコースの十七番ホールには全英オープンで中島プロが大たたきをしたので有名なバンカーがあり、中島バンカーと呼ばれている。息子をこのバンカーに入れ、バンカーからボールを出す練習をさせた。又、十七番から十八番に行くところの有名な石の橋で記念撮影をした。スコットランドの名のあるコースはほとんど回っている。

八二年から八七年まで駐在したベルギーのゴルフコースはクラブハウスが昔のお城だったりして、ヨーロッパらしい雰囲気だった。狭い国だがゴルフ場が十四もあり、EC本部の外国人がよく来ていた。

(カナダ日新社長)

◎気楽に出来るマイアミのゴルフ

酒井洋人

前任地マイアミはトロントと同じで数多くのゴルフ場があり、気楽にプレイ出来た。私の住んでいたマイアミ・ビーチのアパートのすぐ下にもコースが二つ広がっていて、窓から見て、「ああ今日はカートが少ないな」とぼつと出て行って気軽にプレイをした。トロントではある程度ゴルフに行くという身仕度、

気構えが必要だが、マイアミの場合は日常生活と組み合わせさせた感じで肩を張らずにゴルフが出来た。

ただし、ドルル・カントリー・クラブのような有名なコースに行くときは改まって出かける。4コースあり、その中のブルー・モンスタースはPGAツアーを毎年最初に行うので知られている。ここでプレイをするのが私達の夢というか、ここだけは気持ちを引き締めなくては出来ない難しいコースだった。ドルルはマイアミ国際空港へ内陸から入る航空機が滑走路に降りるコースの傍にあり、先達てバリエー・ジェットが落ちた近くである。(ソニー・カナダ社長)

◎エーゲ海に打ち込む、コルフ島のコース

田村末夫

九一年の末まで駐在したギリシャにはゴルフ場が四つしかない。首都のアテネ、北部のギリシャ第二の都市、テサロニキ、コルフ島とクレタ島に一ヶ所ずつある。一番よく行ったのはアテネ空港に近いグリファアータ・ゴルフコースである。気候が温暖なので芝生がかれた冬でもプレイが出来る。雪がちらついていてもプレイしたこともある。クラブハウスは一種の社交場でゴルフと関係ない人々が食事に大勢やって来る。北部のテサロニキはブルガリアからゴルフをしにくる人が多い。

コルフ島のコースは御承知のように岩山なので、かなり荒っぽいコースである。海越えて失敗したボールが地中海やエーゲ海に沢山保存されているはずである。一般のギリシャ人はサッカーの愛好者で、ゴルフはあまりやらない。ゴルフやテニスの上流階級のスポーツのようだ。反面、普通の人でもヨットや別荘をけっこう持っていて、夏休みをびっしりとして海や山へ出かけている。(シャープ・エレクトロニクス・カナダ・サービス部品マネジャー)



アヒルの天国

帰ってきた
ツイテイー



我が家でアヒルを飼っていると言うと、ほとんどの人がへーえと驚く。そして意外にもアヒルに興味を示してくれる人も多い。日本の農家によく飼われている鶏と同様に、欧米の出身の人達にはアヒルはこの農家にも飼われていた昔懐かしい動物なのかもしれない。また、中国系の人達はベキングダックにもあるように特別な日のための食材であるらしく、ヨダレもたらさんばかりに目が輝くので私はうろたえてしまう。

我が家にツイテイーが来たのは四年前の五月のことである。偶然日曜日に出かけたファーマーズマーケットで、まだ黄色いひよこで手のひらに軽く乗る位の大きさで、くちばしと足の水掻きがピンク色のアヒルを見つけたのである。とても欲しいけれど新しいペットを飼うことを決断するには、後の世話のことを考えるとかなりの決心が必要である。迷っていた

る私の側で夫はほつりと言った。幼稚園のとき、買ってもらった運動靴にアヒルの絵が描いてあって、それ以来アヒルが好きなんだ。そう言えば、私に買ってくれたやかんにアヒルの絵がついているのを思い出した。私は二ドルでそのアヒルを買った。売り手のおじさんは「ひよこの間は水につけてはいけない。餌はなんでも食べるよ」と教えてくれたが、最後に「Good Luck」と言っただけでつぶらされた時は、少し後悔した。このアヒルはツイテイーバードからツイテイーと名前をつけた。

ペットショップでアヒルの餌い方の本と餌を探したが、街のどの店でも見つける事が出来なかった。多分いくらペット好きの多いところでも、まさか街でアヒルを飼う人はあまりいないのであろう。いろいろ試しに餌として与えたが、犬のマギーがいつも食べている固形の餌を一番よく食べたので、小さく潰して与えた。夜は箱に入れて寝かすと鳴くので、タオルで包んで一緒にベッドで寝た。犬の散歩の時にはどんなに荒地の野原に行っても一生懸命追いかけてきた。この犬とアヒルの変な散歩はツイテイーが空を飛べるようになるまで続いた。これは私の新発見であるがアヒルも空を飛べるのである。また、お風呂は好きだが、池で泳ぐのは嫌いであった。

二年目からツイテイーは卵を毎年五〇〜六〇個産むようになった。三年目の秋、私達はツイテイーを他のアヒルの仲間に入れるように、家の近くの公園のアヒルの沢山いる池に連れて行つたが、

ツイテイーは他のアヒルには全く興味を示さず、一羽で孤立したままだった。で、諦めて家に連れて帰ろうとしたが、いつもに反して呼んでも来なかった。多分他のアヒルと打ち解けるには少し時間が必要なんだろうと、その日は心配しながらもツイテイーを置いて私達は家に帰った。その夜、夫は夢の中でツイテイーがとても家に帰りがついている様子を見たそうで、翌朝出勤の途中、その公園に寄ってみると、その公園の駐車場であるで夫の車が迎えにくるのを待っているように居たそうです。そして車のドアを開けるとすぐに乗ってきたそうです。

一寸の虫にも五分の魂と、子供の頃よく両親に言われた事があつたが、小さな生命、自分には何の力にもなりそうもない無力な命にも心があるのだと日々自分に言い聞かせ、大切にしていかなければ...と思う今日この頃です。(後藤順子)



JEAN-PIERRE & KRISTENSEN

ジョン・ピエール&クリステンセン

美容室の名前と
住所が変わりました
(旧名ブルマーJ美容室)

960-0335

予約はユミ子まで

29 Bellair St, Unit 207
(地下鉄BAY駅下車)
Bellair 出口すぐ

裏千家トレント教室

新 宗楓 教室

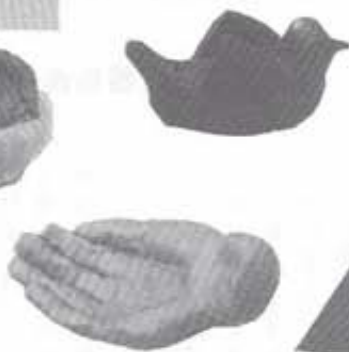
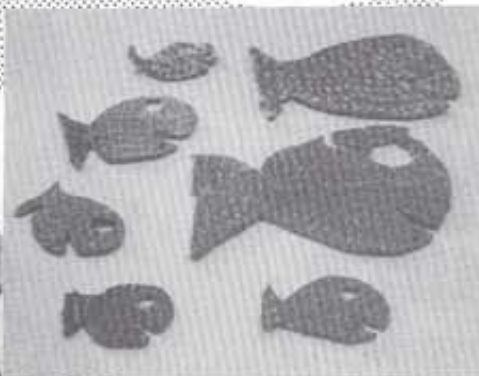
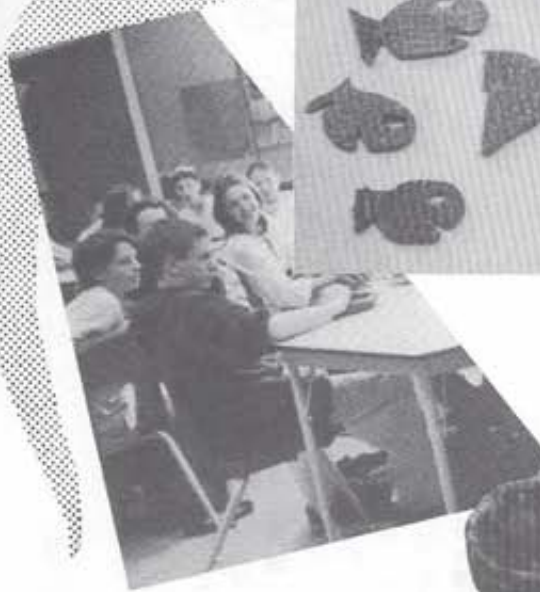
8 Dallington Drive
Willowdale, Ontario
Ontario M2A 2G3

416-493-6776

カナダの学校で陶芸を教える

創造性と理解を深める

陶芸家 中村路子さん



陶芸家の中村路子さんは、カナダの小、中学校、高校や障害者の施設で陶芸のワークショップを行っている。陶芸を通じて創作の喜びを経験し、同時に日本の文化を伝えたいという二つの目的で、四年前から始めた。

学校の場合はグレード三から十までくらいが対象で、ワンセッション五回、プログラムは一部がプレゼンテーションとレクチュア、二部が陶器作りの実技、三部が出来上がった作品のプレゼンテーションの三課程に分かれている。一部ではスライドや中村さんの実技を見せたりしながら、日本の建物は、庭は、家の中は、食べる物は、着る物は、どんな言葉をしやべり、どんな字を書くの？子供たちは？と日本人の生活の中で陶器がどのように作られ、扱われているかについて実際に見せて行く。ときには中村さんが絵を描いて一寸法師のおとき話を紹介する。

二部の実技は、十人くらいのグループに分けてテクニカルな指導をしながら生徒たちに自分の創りたい物をそれぞれ作らせる。粘土の扱い方、絵つけ、うわくすりのかけ方など。又、一つのグループが協力して大きい作品に取り組みプロジェクト活動をすることもある。

最後のクラスは一人一人が自作の陶器について、なぜこの作品を作ったのか、モチベーションの説明を行う。

この夏、ト



ロントのある中学校の最後のクラスを参観した。生徒たちが自分の作品をホームルームに持ちよって、そのモチベーションを説明して行く。子供たちの作品は発想が自由で面白い。口型のキャンディ入れ、手の模型など前衛的な作品を作る子供もいれば、お母さんの誕生日にプレゼントする花瓶を作った子、自分の家族のメンバーを魚の一家で表わした子供もいた。なぜか兄弟の魚より自分の魚を一番大きく作っている。そのあたりにも子供の心理が現れているようだ。

中村さんは「陶器を作ることにより、今まで自信がなかった子供に自信がついたり、学業だけでは分からない隠れた才能が発掘されます。生徒たちの作品を見ていると、その子供の生活環境や民族的なバックグラウンドがわかる。いろいろな国から来た人たちの伝統や習慣が子供たちの陶器の中に現れる。陶器を通じてお互いに関心を持ち、理解し合えることは素晴らしいと思えます」と語っている。

参観した学校は中流の恵まれた子供たちの集まる地域だったが、養護施設や恵まれない地域のクラスでは更にその効果ははつきりと現れるそうである。



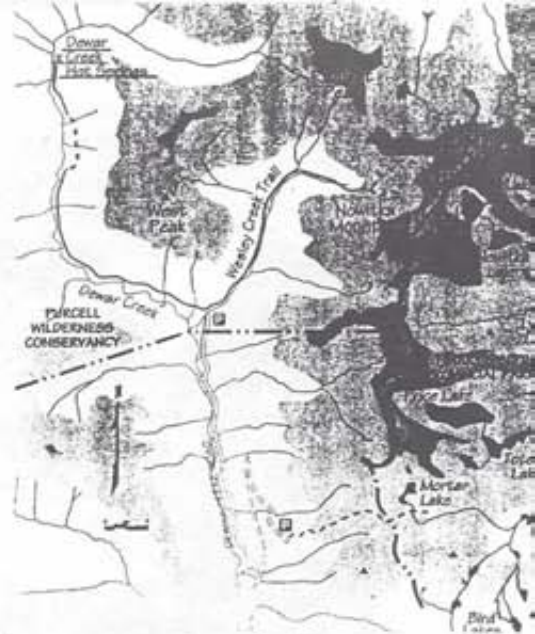
マイク佐藤のいい湯だナ

遠くあちあち湯煙が昇る

デュワー川温泉

(Dewar Creek Hotspring)

馬の背に揺られて行く



馬の背に揺られて行く粋な温泉

BC州クートニー地区には三十数ヶ所の温泉、鉱泉があるが、ここ数年でほとんど踏査した。未調査なのは、パノラマ・スキー場から、三十数キロ西奥に入ったジャンボクリーク温泉と、クートニー湖東岸のフライ・クリーク温泉、そして今回行ったデュワー川温泉だけである。前の二ヶ所は、百年以上も前の山師たちの大雑把なりポットがあるだけで、ここ数十年間、行った人もその記録も皆無の幻の温泉である。デュワー川温泉は、BC州でも最も雄大で、素晴らしい山峡の温泉と聞いていたので、一度は行ってみたいと思っていた。三年程前に、山道の入口まで行ったのだが、丁度温泉から帰ってきたハイカーに、片道五時間程かかり、灰色熊を見たと言われたので、さすが一人で行く勇気がなく、空しく引き返した。今回は日本にいるチャールズ・ランメルが、BC州に帰ってくるので、ドン・ホルツと私と、カナダの温泉きちがいが一堂に会ってこの温泉に行こうという計画が持ち上がった。ドンは過去二度この温泉を訪れている。最初の時は山道が入り組んでいるので何度も間違ひ、片道六時間を費やしたという。とくに雨あがりには山道が泥沼のようになり、何度もデュワー川を渡らなくてはならないので、相当な強行軍になるということであった。チャールズもかつて山道の入口まで行って引き返しているの、どうし

てもと熱望していた。彼はその時ハイカーから、ハンターたちが乗る馬で温泉まで行けるといふ、面白い情報を持ってきた。馬で温泉に行くという趣向がおもしろいので話は簡単にまとまり、七月末に三人で行くという事になった。ポットや水上飛行機、ヘリコプターなどで温泉めぐりをしたが、世界中広しといえども、馬で温泉へ行くなどという話は聞いたことが無い。往復十時間もかかった、険難な山道を熊を心配しながら、ぬかるみに足をとられる苦闘を考えれば、夢のような面白い企画である。

新しい鉱泉を発見

ドンとチャールズがキャスルガ市の空港で私を迎えてくれ、二日間をクートニー湖沿岸の鉱泉の調査に費やした。カーペンター・クリークの北東四十キロの地点で、未だ報告されていない新しい鉱泉を発見し、チャールズがホーウィル・クリーク・ソーダ・スプリングと命名した。フライ・クリークの調査で、伐採夫たちと会っていた時、その中の一人が教えてくれたものである。あまり期待していなかったが、その情報の正確さと見事な鉱泉なものには驚いてしまった。三日目の朝、クアーフォード・ベイ (Crawford Bay) を出発した私たちは一路、デュワー川温泉を目指した。通常この温泉に行くにはキンバリー市 (Kimberly) 側から入るのだが、今回は一度も

通ったことのないグレイ・パス (Grey Pass) を利用した。グレイ・パスは夏の期間しか開通してなく、林道を標高二〇〇〇Mまで登るので、その緑のまぶしさと、雄大さは筆舌に尽くしがたい。約七〇分程で五キロ地点のセント・メリー・レーク・ロード (St. Mary Lake Road) とぶつかる。八六・七キロ地点がデュワー・クリーク温泉の山道の入口になる。

温泉への道順

通常、ハイカー達は克蘭ブロック市 (Cranbrook) の方から入ってくるので、ハイウェイ九七Aを北上し、キンバリー市の一つ南になるメリーズビル (Marysville) から左折し、セント・メリー・レイク・ロードを西に向かって進む。一七キロまでは舗装されているが、その後は砂利道の林道である。三〇キロでグレイ・クリークの分岐点に出る。四〇キロで West Fork St. Mary Road と道路案内が出ているが、右側をデュワー・クリークの方へ北上する。次の分岐点で左の方へ、五四・七キロの分岐点では右の方へ進む。六一・三キロ地点で道路は突然細くなり、小枝の生い茂った荒道になる。新車の場合、ひっかき傷がつくので注意して進むように。六二・七キロで山道の入口に着く。メリーズビルからここまで間違ひなければ、一時間半ないし四十分ぐらいの走行時間である。車が二・三十台は停まれそうな



露天風呂につかり大満足



馬の背に揺られて温泉探し

筆者(右)とチャールス

野原があり、パーセル(Purcell Wilderness Conservancy)自然保護区の案内板が見える。地図では、NTS MAPS 82F16, 82F15であるが、地図にも案内板にも温泉のことは載っていないので注意するように。

灰色熊の足跡をみつける

山道の入口には、カウボーイ姿の親子が、馬七頭をつないで待っていてくれた。案内を勤めてくれるのはタイラーさんと、十一歳の息子のジェスも同行してくれることになった。挨拶をすませ、二頭の馬に食料や寝袋などを積み込んで出発である。タイラーさんが先頭を切り、荷馬二頭を自分の馬につなぎ、チャールズ、ドンそして私の順で、しんがりは息子のジェスである。百メートルも行かないうちにデュワー川を渡るのだが、この時期増水で、馬に慣れていない私はおっかなびつきりであった。チャールズとドンは乗馬の経験があるので余裕しやくしやく馬上で写真を撮っていた。さすが馬は川を渡るのも速く、降りしきる小雨で山道はむかみになつてはいるのだが、馬は簡単に突破する。急な下り坂になったり、崖があつたりでスリル満点であつた。さすが馬上からの眺めはずばらしく、パーセル山脈の残雪や氷河は光り輝いていた。そのうちに慣れないので尻と内股が痛くなりきたたには閉口した。野草咲き乱れる大草原で、突然タイラーさんが大声を上げるので近づくと、道

路の脇に大きな灰色熊の足跡があるではないか。それも真新しいもので、徒歩で来ていたら肝を冷やすところだった。その点、馬上は楽である。二時間半ほどでハンター用の丸太小屋に到着した。設備は何もなく、寝袋が敷ける小さな小屋が三つあるだけである。

湯煙の石灰華ドーム

タイラーさんが食事やキャンプファイヤーを準備している間に、早速私たちは温泉に向かうことにした。ぬかるみに足をとられながら小雨の中を三十分程歩いて行くと、ふと前方に湯煙が見えるではないか。ついに念願のデュワー・クリーク温泉に到着したのである。デュワー川に沿い三百メートルにわたつて石灰華の小高い丘がそそり立っており、湯煙とその壮大さには圧倒されてしまった。喜びのあまり、うかつにも源泉の一つに手を入れたら、あまりの熱さに火傷しそうになった。六ヶ所ほどの割れ目から源泉が湧き出ており、いずれも八十度以上、最高温は八七・二度で、BC州でも最も熱い温泉の一つではないかと思われる。標高は一五九七Mで、さすが真夏でも夕方になれば肌寒くなつてくる。一通りの調査をすませたあと、三人で川沿いにある露天風呂に入ることにした。熱すぎるので冷水を入れて二十分程調節しながら入った。四二度の適温で露天風呂は五、六人は入れそうである。露天風呂からの

鍾乳ドームの眺めはまた格別である。三人とも到達感と期待以上の満足感で笑い声が絶えなかった。一時間程かかって露天風呂を清掃し、夕闇が迫ってきたので翌朝また入ることにした。

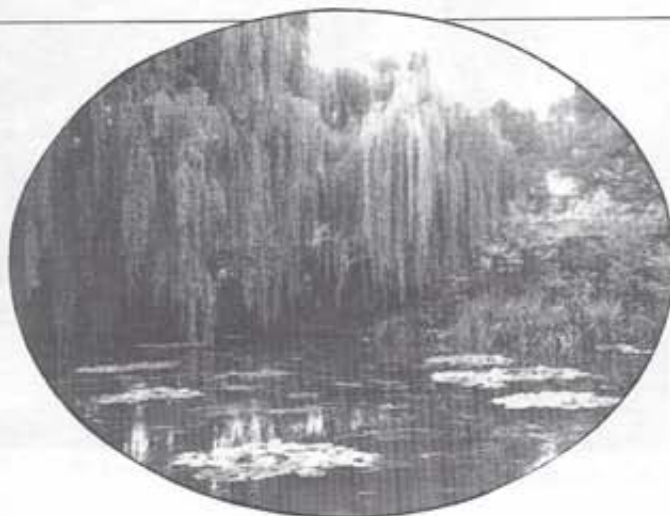
馬で温泉に来たのは私たちが初めて?

山荘でタイラーさんが作ってくれた夕食に舌鼓を打ちながら談笑したら、馬で温泉に来たのはタイラーさんが知っている限り、私たちが初めてだそうである。狩猟期間になると、アメリカから裕福なハンターたちが二、三日泊まりがけでこの山荘に来るそうである。温泉となると相当好きと思ったのか、本人も苦笑していた。往復の馬の代金と山荘宿泊代、食事で、一人三百ドルであつた。しかし、大自然の雄大さに抱かれて入ったデュワー温泉の露天風呂は、お金に換えられない素晴らしい思い出になった。この温泉を試したい方は、山道が込み入っているので、直接私に連絡して頂ければ幸いです。営林所や地元の観光案内所では、この温泉のことを全く知らないし、地図にも載っていないので、行くには少し準備が必要です。馬と山荘の予約は、Three Bar Ranch (604) 26-530へ直接連絡するように。どうせカナダにいるのですから、日本では絶対体験できない馬でゆく露天風呂を試してみたいかがでしようか?

モネの家と庭

印象派の画家、クロード・モネが描いた水蓮の池や太鼓橋を見にジヴェルニーを訪ねた。モネの家と庭は、今やパリ近郊の観光名所の一つで、観光コースの中に組み込まれている。チュイルリ公園の横から出るパリビジョン観光バス半日コースに参加してジヴェルニーに行った。パリから西北にルーアンに行くハイウエーを四、五十分走るとヴェルノンという小さい町がある。その町はずれのセーヌ支流を渡ったところがジヴェルニーである。

観光バスは日英仏の三ヶ国語ガイド、日本語ガイドのフランス人女性はか

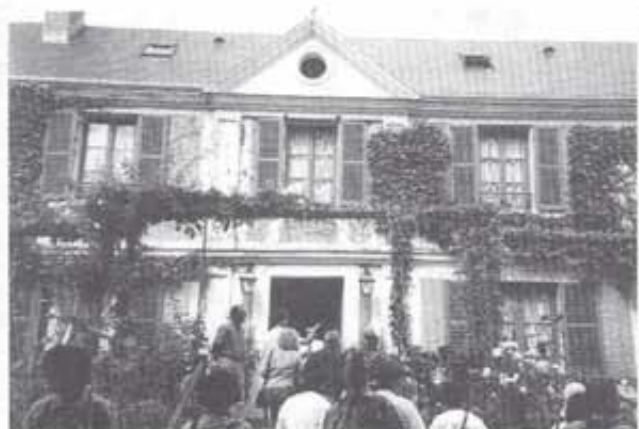


り流暢だ。どの言葉が一番トクか（情報量が多いか）聴き耳を立てる。日本語の説明が長すぎると後席の英語族が文句を言っている。日本語ガイドはモネの家に入る前に、中の間取りや見所について十五分ほど説明をしてくれた。他言語はオリエンテーションなし。

駐車場と路上に数台の観光バスと車が溢れ、現場は予想以上の混雑だ。通用門みたいな脇の小さな入口からぞろぞろと百花繚乱のノルマンディー風庭園に押し込まれる。モネはルアーブルで育ったのでノルマンディー風の庭造りをしたのであろう。花壇の間の小径や花のアーチの下はこつた返しに近い混みようで、後戻りすることも出来ない。

モネの庭は家の前に広がるノルマンディー風の庭園と水蓮の池と太鼓橋のある日本式庭園の二つに分かれている。この二つの庭の間に道路が通っているので日本式庭園に行くには地下道をくぐらなければならない。日本式庭園の池の端のしだれ柳や緑の太鼓橋、水蓮のピンクの濃淡は見覚えのある風景だ。モネは屋根付きボートに乗って雨の日も写生をしていたので、後楽園くらいの広さを想像していたが、池も庭全体も意外と小さいので驚いた。水面は静かだが、池をめぐる小径は数珠つなぎの人、太鼓橋の上も鈴なり。小さい木の橋なので落っこちないかと心配だ。皆この太鼓橋を渡ってみたいと気がすまないらしい。そして、一様に「モネ

の絵にそっくりだ」と同じことをしゃべっている。



家の中で見るべき物は彼が集めた浮世絵のコレクションであろう。北斎、歌麿、春信、国貞、はつとするような作品が台所を除いて壁一面に飾ってある。モネの選択眼はさすがである。展示してあるモネの絵は複製だそうが、浮世絵の方は本物だ。アトリエは屋内に一つと別棟に二つ。リモージュの食器が並ぶ食堂はレモンイエロー、キッチンがオーシャンブルーに色鮮やかに塗られている。モネは一八八三年、画家として成功した四十三歳の時にジヴェルニーの家を買い、一九二六年に死ぬまでここに住んだ。政治家のクレマンソーなど多くの友人がジヴェルニーを訪れた。パリからヴェルノンに汽車で来る客人を送り迎えするためにモネは運転手付きの自家用車を持っていた。

最後にウエアハウスみたいに広い売店を通らないと外に出られない仕組みになっている。そこではポスター、絵葉書からTシャツ、カップ、キーホルダーに至るありとあらゆるモネグッズを売っていて特売場のような騒ぎ。芋の子を洗うようなモネ・プロバテイーから押し出されるとアイスクリーム屋の車が待ちかまえている。ピスタチオの2スクープをなめながら、モネ体験とは「絵とそっくりだア」と感嘆しながら水蓮の池を一回りして、太鼓橋を我が足で踏みしめ、モネグッズを買うことにありと実感した次第です。

(K・H)

「オルガン」制作者4人にきく

トロント国際映画祭 ミッドナイト・マッドネス 部門で人気



トロント国際映画祭に参加した「異色」日本映画「オルガン」の制作出演者の通訳としてア

テンドする機会が

あった。「ザ・ピアノ」という映画があったが、この映画「オルガン」は楽器ではなく臓器のオルガン。アンダーグラウンドの内臓移植ビジネスをテーマにした気味の悪いこわいお話だが、その過激な地獄図の中に、しぶとく生き抜く人間像が浮かび上がってくる。某女子高校で生徒が突然いなくなるといううわさを聞いた刑事が取り調べに入る。昼間は高校の生物の教師が夜は移植用臓器を調達する医師になっ

て……

監督した不二稿京（ふじわら・けい）さんは、女性監督でこの映画が第一作。唐十郎の紅テント出身で数々の主役をつとめた後、塚本晋也監督の「鉄男」の女主人公を演じ、九一年劇団「オルガン・ヴィトー」を結成、脚本、演出、制作、出演とエネルギーギッシュな演劇創作活動を続けている。「オルガン」でも「片目のヨウコ」役で出演。映画祭には、生物教師役の長谷川公彦（照明・美術担当）、刑事役の奈佐健臣（なさ・けんじ、編集・音楽担当）、運び屋役の塔島（とじま）昭三（進行・記録担当）の4人で来た。

「オルガン」は「ファンタスティック・フィルム」のカテゴリーにはいるそうで、トロントの後サドバリーのシネ・フェスト、十月には東京国際ファンタスティック映画祭で招待上映が決

まっている。トロントでは「ミッドナイト・マッドネス」部門で夜中の十二時から上映され、大変な話題と反応を呼んだ。

トロントの観客の反応は如何でしたか？

不二稿「こんな風に乗しんで見るといふ人たちがいることを日本の中での観客しか知らなかったの、感激しました。劇場の中に入るときから皆が先を争って走って、熱狂的に待っていて、でも盛り上がっていると拍手をしたり叫んだりして、終わっても拍手してくれて、こんな風に上映することを自分の楽しいこととして受け取ってくれるということは嬉しいですね。日本ではこういうことはなく、皆礼儀正しく見て黙って帰るといふ感じです。観客は若い人たちが多かったです。」

アングラ系の演劇活動を選び、続けていらつしやるわけは？

不二稿「子供の頃母親といつしよによく演劇を見に行きましたが、地方に来るのは新劇と宝塚で見ていてすごく退屈だったんですよ。何か力がない。高校の時代に演劇雑誌で小劇場の作家達の作品を読み、新劇とは違いストリートに自分が欲しいと思うものが舞台で表現出来るように思い、小劇場に目をつけました。東京に出て来ていろいろ演劇を見ましたが紅テントを見た時の衝撃が一番強かったですね。今の紅テントと比べてもっとパワーのあった最盛期で、アドリブか台詞かわからないくらい日常性があり、唐さんがスー

パーリアリズムと言っていたのですが、これが表現だなど思いました。すごくリアルな演技を基盤にシニールなリズムの中にお客さんを引っ張って行く、これぞ演劇！と何か別の世界を覗かせてくれる力を感じました。紅テントは普通の芝居と違い観客がカナダのように走って席を取りにいき、始まるのを待って拍手して、役者が出てくると大騒ぎをして声をかけ、というライブの力が強いのですよ。」

奈佐さんは「本当をいうとうちの劇団はジャンル分け出来ないところにいると思うが、しいていえばアングラ系に入る」と言い、サラリーマンから俳優になった塔島さんは「思想的なものでなく魂をゆさぶるようなスケールの大きさ、話の過激さという点で面白い劇団です」と説明する。長谷川さんは大学受験に失敗したのが演劇に入る動機だったそうだが、紅テントで知り合った不二稿さん、奈佐さん達とオルガン・ヴィトーを結成した。「今は世の中が平和になったせいで面白い芝居が出来にくくなっている。その中でいかにエネルギーギッシュな事件を起こせるか、ということをやっているのがオルガン・ヴィトーの集団です」と言う。

アングラはいつかは正統派になることを目指しているのでしょうか？ときくと「正統派よりも野の中の大木になりたいですね」と不二稿さん。二一トで礼儀正しく、穏やかな物腰の中にもバイタリティーを秘めたこの若き演劇家たちにこれからもスケールの大きい挑戦、飛躍を続けて欲しいと期待しています。（野尻佳子）

左より塔島、長谷川、不二稿、奈佐さん

撮影中の不二稿さん



日本語パソコンの 迷信とわな



森貞一弘

今年の春、日本に帰国した際に二種類の日本語環境（オペレーティング・システム）、日本語版 Windows 95 と日本語版 OS/2 Warp を入手してきた。しかしながら北米規格のパソコン上での日本語を処理するための設定方法にはオーロラ夏号で一部紹介があったようにオペレーティング・システムを変更するだけではなく何種類かの方法がある。個人的には環境ソフト（オペレーティング・システム）を日本語版にしてしまうのは最終手段だと感じる。今回は日本語オペレーティング・システムを導入する際の見えないわなにについて解説しよう。コンピュータに関しては俗に「よく知っている人」とか呼ばれているマニアが沢山トロント近郊にもいるが、個人的に興味や家庭で使う場合と会社などのネットワークの上で管理されたシステムの一部として使う場合では、まったく異なるので注意して欲しい。

まずは日本語オペレーティング・システムの迷信を列記します。（つまり必ずしも真実ではないけれど、多数の人がわけもなく真実だとおもっていることです。）

日本語に関する迷信

◇日本語ソフトだとパソコンをマスタししやすい。（???）

◇日本語処理をするには日本語のOSを導入するのが一番良い。それ以外の方法は不完全でシステムの負担が大きくて不安定。

◇日本語ソフトは英語版より改善されているので安定している。

◇日本もカナダもパソコンやその周辺機器は同じだから日本語ソフトも問題なく稼動するはず。

◇日本語環境でも英語環境でも同等にデザインされているので両言語を混合しても問題はない。（カナダは多様な化国だしね・・・）

◇日本語ソフトを使えば日本語の勉強になる。（冗談でしょ？。もう漢字なんか書けなくなりますが。）

◇日本の方がコンピュータの開発が進んでいるので日本語環境を設定することは最新の技術を導入したことになる。（???絶句!）

以上のようにいろんな迷信が甚に氾濫していて、何が何か理解出来ない人も居るでしょう。まず、「パソコン」が難しい理由は言語的な問題ではありま

せん。はつきり言って付属の解説書には（特に最近）説明不足で何語で書かれていても意味不明な部分がたくさんあります。（色々触っているうちに動くようになるのがソフトウエアで、余り触りすぎると動かなくなるのがハードウエアで、両方揃ってコンピュータになります。）とりあえず迷信を捨てて馴れて下さい。

次に問題点をあげてみます。

日本語環境に関する問題点

◇必ずしも北米仕様のパソコンは稼動するとは言えない。一見問題なく稼動しているようでも、よく調べてみるとパソコンの機能を十分に活用しきっていない場合があります。

◇ソフトの開発や販売元からサポートがない。（実際問題があつて日本マイクrosoftのサービス部門にEメールで連絡したが一週間後夜中の三時頃にファックスで「製品に関するサポートは日本国内だけと限定しておりません。」と返事があつた。当然ながらカナダのマイクロソフト社は相手してくれない。）要するに誰も相手してくれない。

◇もっと詳しく勉強したい場合には日本から解説書や参考書を取り寄せるしかない。（あるいは日本人の「よく知っている人」に聞くしかない。特に最近、付属の解説書は粗末です。）

◇日本語版 Windows 95 を導入する場

合には英語版環境との共存が難しいため、現在使用中のソフトが使えなくなる可能性が高い。最近のパソコンは買った時点ですでに便利なソフトが導入されていたり、その機種独特の機能を生かすためのソフトが導入されているが、これらをすべて抹消するのはもったいない。

◇LANなどのネットワーク上で共有ファイルが存在する環境で異なるOSが混合するのは危険。（特にWindows95では特殊なファイル・システムを採用しているため、英語版と日本語版、旧 Windows やDOSとの関係でファイルが破壊されることがある。）

以上のようにいろいろと問題があるのを承知で（つまり、誰も当てにせず、問題があつた場合には自分で解決し、パソコンの機能もフルに活用出来なくとも）とにかく日本語環境（OS）を導入したいという人のためにアドバイスをしましょう。

アドバイス

◇極力、ここ二三年、連続で世界的に標準とされているパソコンを購入する。（機種やメーカー名は問題ではなく、内部で使用されているビデオ・カードやマルチメディア用サウンド・カードも含めてあまり名前を聞いたことのない部品や、飛び切りの新製品は避け

ること。)特にビデオ・カードの選択には注意して下さい。カナダのATI社のMACH64はビデオカードとしては安全な選択。

◇インターネットなどを通じて常に最新の情報を入手し必要に応じて問題修正用パッケージを導入する。(この頃、ソフトの開発元はとりあえず製品を出荷して、問題が発覚してから修正するというとんでもない態度を平気でとっていますから、場合によっては全然稼動しないことや二、三ヶ月してから問題が発生することもよくあります。)

◇安全のため、英語ソフトと日本語ソフトを混合しない。

◇英語環境より日本語環境では、ずっとシステムへの負担が大きいため、余裕のあるシステム構成を用意する。たとえばメモリーやハード・ディスクの容量は英語版環境より大きなものが必要です。ペンティアムと十六メガのメモリーが装備されていない場合は、多分快適な環境にはなりません。(ビジネスなどで多重処理をする場合には十六メガの記憶容量ではきびしい。)

◇CD-ROMが装備されていること、最近のソフトはほとんどCD-ROMがないと導入出来ません。

◇日本語文字を美しく印字するためには六百ドット以上の詳細な印字が可能ならレーザー・プリンターが必要。

◇日本国内での就職でも考えているなら別として、日本語のキーボードは必要ない。(大抵はローマ字入力で日本語をタイプしているのが現状で、日本語キーボードのスペース・バーはあまりにも小さくて使いづらいだけ)

◇環境ソフト(OS)だけでは何も出来ないで必ず必要な日本語アプリケーション(マイクロソフトオフィスやロータススーパーオフィス等)も購入する。

◇システム設定の変更にはオリジナルのCDが必要なので必ず大切に保管すること。

では最後に簡単に日本で買ってきた二種類のオペレーティング・システム(OS2 WarpとWindows 95)の比較をします。

◆Windows 95 日本語版

1 一見使い易くて思い切り遊び半分の楽しいOSだが、使っていると段々それが鼻につく。

2 英語版DOS用ソフトとの互換性は高いが旧Windows用のアプリケーションと混合して使用するのには、あまり好ましくない。結局日本語版Windows95用に作られたアプリケーションを購入する必要がある。

(Windows 95のものには何も役に立ちそうなソフトは付属していない。)

3 インターネット接続機能が装備されているがマイクロソフト社のインタ

ーネット以外と契約している場合の設定方法は難しい。(尚、プラスパックという別料金で追加機能を販売しているが、まともなインターネットをするためには最新版をインターネットによってダウンロードする必要がある。)

4 Plug and Playという自動判別機能は便利だが完全でなく誤動作して導入できなかつたり、うまく立ち上がらない。

5 付属の解説書は冗談かと思えるほど役に立たない。(是非とも追加の解説書を購入してください。)

6 一回、おかしくなると手をつけられない。これも複雑な設定を全て自動化しているため、いろいろな不思議な現象が発生するが解説書が雑なので説明出来ない。

◆OS2 Warp 日本語版

1 英語環境と日本語環境の両方を装備した本格的二ヶ国語用OS

2 標準装備のフォントの数が多し、即、役に立つアプリケーションが付属している。

3 フォント・マネジャーという機能を使えばDOSも含めてWindows 95日本語版や英語版環境との共存が可能なので、欲ばりの人向き。

4 残念ながらWindows 95用に開発されたソフトは使用出来ない。(日本語版Windows用のソフト、

マイクロソフトオフィス等は問題ない。)

5 インターネット機能が少々使いにくい。(近いうちにNetscape社よりOS2版インターネット用ソフトが出るらしい。)

6 ハードディスクの容量がかなり大きく必要。(特に日英の二ヶ国語サポートを導入した場合にはOSだけで二百M必要)

7 Windows 95に比べ、少々変なソフトを稼動してもシステムの機能が停止することは少ない。

近いうちに日本IBMからOS2 Warp日本語版のWindows 95に一見似たユーザー・インターフェイスを備え音声認識機能やJAV Aを加えた第四版が発売される。(英語版はすでに発売中)また一方マイクロソフト社ではWindows97の開発途中だと言うことです。

パソコンに馴れている妻に実際に両方のOSを試してもらっているが、どうやらインターネットで日本語サイトを見る場合にはWindows 95で、実際に日本語の文章を作成したり、学校の宿題や会社の仕事をする時はOS2 Warpを使用しているようだ。(会社では英語版Windowsを使用しているので、多分、OS2の方が使い易くてWindows95日本語版にはとっつきにくいのだろう。)

(「トニー・コンピュータ」)

千クチミまで

タドサク・サグネイ・サンジヤン湖 ケベック深奥部を訪れて

数年前の夏、急に思いついて千クチミまで出かけた。この夏サグネイ川の氾濫で死者が出て、流域地方に二億ドルの損害を与えたケベック内奥部の地方である。



千クチミの街並み



◆十日間99ドルのバスを利用して

カナダ東部に路線を持つバス会社のボヤジャーが十日間自社の路線なら幾ら乗っても九九ドルというサマーパス・セールスをしたので、それを利用してオタワとモントリオールへ出張し、その後、時間の許す限り州内をバスで走りまわる計画を立てたのである。トロントからオタワ、モントリオールを往復すれば元はとったも同然、後はフリーに近いチケットでなるべくバスに沢山乗って遠い所へ行ってやろうと思った。ガスペ半島は二、三年前に

行ったので、サンジヤン湖と千クチミへ行くことにした。こんなことでもなければオンタリオから千クチミまでわざわざ足を伸ばすことなどないと思う。昼過ぎモントリオールを出発、ケベックシティでベイコモ行きへ乗り継ぐ。夕方ベイ・サンポールに着く。セント・ローレンス河添いの小さな町だがアート活動で知られ、サーカス、シルク・ド・ソレイユの発生の地。旅行者風は全員ここで降りる。次の日、タドサク回りで千クチミまで行かなくてはならないので、一つ先のラ・マルベイまで行く。早立ちなのでバスターミナルの傍のモーテルに泊ったが、ガイドブックが奨めるピック岬の有名なB&Bに泊るべきだったと後で後悔することしきり。暗闇で海は見えなくても旅の宿は環境がよい方がいい。

◆鯨とフィヨルドのタドサク

翌朝ケベックシティ発ベイコモ行きバスに再び乗り、セント・ローレンス添いに下る。サグネイの河口を渡りタドサクで下車、千クチミ行きに乗り換える。退屈なのでタドサクまで隣の席に座っていたベイコモまで帰るといふ若いフレンチ・カナディアン女性としゃべる。就職に備えてモントリオールのカレッジで英語の勉強をしているそうで、話題はもっぱらベイコモ出身の首相(当時)の地元の評判や家族のこと。



タドサクは鯨見物の名所

サグネイ川のフィヨルドはもう少し上流だが、セント・ローレンスに注ぐ当たりの両岸もゆるやかに切り立っている。

「ビューティフル・カントリー、モントリオールからサグネイに来ると、ホームタウンに帰ってきた気がする」と隣席の女性が言う。

タドサクは鯨見物の名所の一つ。「今朝も二匹来た」と昼食をとったレストランの人が話していた。鯨が来るのは早朝か夜で、昼間は現れないらしい。

昼過ぎタドサクを立ち、千クチミへ向かう。バス路線はサグネイの北岸、172号を通るので、フィヨルドは見えないが、車だったらサグネイ川の手前で170号に入り、サグネイの南岸

からアプローチするとよい。一番の見所はチクチミとタドサクの中間にあるラ・リビエール・ドウ・ラ・エテルニテ（永遠の川）とリトル・サグネイという支流だが、170号からフィヨルドの頂上に接近出来る脇道ある。170号もチクチミに続いている。

◆99%フランス語のコミュニティ

急に前方が開けて、ワッと目に入ったのは「水」だった。あふれそうなサグネイの水、水が豊かな所というのがチクチミの第一印象だった。先日の大洪水はどの箇所が壊れたのか知らないが、あの水があふれ出したらひとたまりもない。

バス・ターミナルでツーリスト・インフォメーションを教えてもらう。明日のサン・ジャン湖一周のスケジュールと今夜のホテル探しである。

「あなたはラッキーですよ。ここは九%がフランス語オンリーのコミュニティで、あなたは残りの一%に当たったんですからね」インフォメーションのバイリンガルの中年女性が言った。

ホテル・チクチミはダウンタウンにある古ぼけたスプリーキーなホテルだが、インフォメーションによるとチクチミでは格式が高いホテルなんだそうである。自由党やケベック党が集会に使うホテルで、ケベック首相のリュシアン・ブシャルの自叙伝にもよく登場する。若い時チクチミの法律事務所弁護士だった彼が「モントリオールか

ら一万ドルの党基金への寄付を集めに来るジャック・バリゾーをホテル・チクチミで待った。我々はなぜ十人が呼び集められたかすぐ理解した。云々」とあり、千ドルのチェック十枚を持って夕方六時のバスでモントリオールへ日帰りするバリゾーを見て、彼ならオタワへ行けば中銀総裁や大蔵大臣くらいになれる可能性があるのに、どうしてこんなことをしているのだから、と同情と慨嘆の調子で書いている。サグネイ、サンジャン地区はセバラチストのケベック党の票田でブシャルの選挙区のはずだ。

あてがわれた部屋はホールを延々と



サグネイのフィヨルド

行った先であり、ホテルの外観同様スプリーキーで、バスルームのタイルが壊れていてシャワーを浴びる気にもならない。部屋を取り替えてもらおうかと思つたが面倒くさいので止めて我慢をする。日没前に食事をしに街へ出たが大通りにはめぼしいレストランがないのでホテルに戻り、ダイニングルームに行く。サグネイ地方の中心地という割にはさびれていて本当に何も無い町だ。食堂は足元が見えないほど暗いが黒服のウェイターがいて格式がありそうで、しかも土地の人たちでかなり賑わっている。ウェイターにメニューの説明を聞いてみると、隣のテーブルの二組の老カップルが「オリエンタルは決してフランス語を覚えようとしなさい」としゃべっているのが聞こえて、ちよつといやな気がした。食事は何の変哲もないニューヨーク・カット・ステーキをオーダーしたのだが、すばらしくおいしかった。トロントではこんなおいしいステーキに出会うことはない。ホテル代と同じくらいのビルが来た。

◆サンジャン湖を一周

サンジャン湖はサグネイ盆地に明るく広がっていた。湖の回りにポイントブルー、サン・フェリシアンといったリゾートが幾つかある。ケベックシティ、トロワリビエールに通じる州道が湖畔から出ている。湖の西岸のサン・フェリシアンで数グループが降り



サンジャン湖近くのドルポーはブルーベリーの産地

て奥地のチブガモ行きに乗り換えた。「チブガモみたいな所に何しに？」
「バスのバスがあるから行ってみるだけ」

というわけで、九九ドルのバスに毎日バンチを入れてもらって、夏休み大勢が遠距離を走りまわっているのである。終点のドルポーというブルーベリーの産地まで行って昼食を食べて、また同じバスで戻ってきた。途中サンブルノという町でケベックシティ行きバスと行き合つたので慌てて乗り換えた。後はシャルボワの山の中を三時間ほどひた走り、午後遅くケベックシティに着いた。チクチミに戻って乗り換えるより二時間早かった。十日目の翌日は朝九時にケベックシティを立ち、午後七時にトロントに到着した。一体何キロ位走っただろう。その後長距離バスをみるとうんざりして三年間乗らなかつた。(K・H)

外国であれ日本であれ、刑務所の中を全部見てまわれる機会はそう誰にでも訪れるものではない。以前にも書いたように、私は検察審査員の仕事をしているので、この見学も仕事の 일환として組み込まれている。さて見学の前に、六ページぐらいのパンフレットを渡されて「これをよく読んでから当日裁判所に出動して下さい」と事務官から言われる。内容を要約すると「受刑者は、一日も早い社会復帰を望んで日夜真摯に受刑生活を送っているので、言動、服装などにおいて受刑者の心情を傷つけることのないよう配慮して欲しい」というような事が書いてあって「男性は背広、ネクタイを着用して、決してハイキングや旅行に行くようなレジャーを着て来るな」とある。女性についてはもっと厳しく、「肌を出すことを最小限にとどめ、派手な色の服、アクセサリーは困る」旨の事がくどいくらいにうたつてある。

さて見学当日、男性九名、女性八名の審査員と事務官三名の計二十名は、八王子裁判所の正門に停めてあるマイクロバスに乗って中央高速道を走った。

府中刑務所の壁はグレー一色かと思いきや、そうではなく、バステルカラーでロマンチックな樹木や雲の絵が描いてある。ギギッと鉄の扉が開いて、我々はマイクロバスごと入ってしまう。入ったら間髪を入れず後ろで扉が閉まる。大変厳重な出入りだ。建物の中に入って接客室で「カメラ、テープ等持っていないせんね。受刑者には話しかけないこと、仲間どうして私語を交わさないこと」等々刑務官の注意がある。

それから講堂に入り、またまた刑務所のルーツ（一七九〇年、長谷川平藏が作った）とか、刑務所内の組織とか、延々と講義がありパンフレットを渡され、なかなか受刑者の作業現場には連れて行ってくれない。

「では参りましょう」と言つて最初に連れて行かれたのは、外国人専用の独



尼子三矢子

は、二年以上八年未満の刑の人だけなので、日本人の独房はないのだそう。さていよいよ、受刑者の働いている作業場へ長い廊下を歩く。最初に入った部屋は、三十名程の人間が机に座って、何かハイテクの部品を作っている。「ワット外国人だらけだ」と思う程、外国人が多い。聞けば二千二百人中、五百人が四十三ヶ国二十八ヶ国語を使う外国人とのこと。ポランティアの通訳さん達も大変なわけだ。

次の部屋は、革製品を作っている。美しいハンドバッグを作っているグループ、小さい財布を裁断しているグループ。次は家具、ここは大工さんの仕事場のような。受刑者も私たちと視線を合わせないように言われているのか、作業だけに執心している。入れない部屋が一つあった。それは印刷をしている所で、全面ガラス張りではあるが、そこだけ冷房（行ったのは夏だったので）してある。紙を扱うので、汗で枚数が狂ったりしたためだ。そして当然ながら、そこは日本人だけのグループだ。オウムの岐部哲也や歌手の清水健太郎がいるという話だが、同じグレーの社業着、帽子なので、識別することは出来なかった。

ホッとする思いで出て来た私達を待っていたのは、各刑務所で作られている製品の売店だった。何と言つても値段が安い。市価の半額、又はそれ以下だったのだ。私達ははじめてお互いにキヤーカーを出して買い漁った。私は文房具やアクセサリー、味噌、醤油などを持ち切れない程、買ってしまつた。男性は靴だの傘だのカバンだのを買っていた。

総合した感想は、並べてあった一日の食事のグレードが高かったことと（パンなどは自分達で焼くコッペパンでおいしそうだった）。外国人も日本人も同じ物を食べ、同じ風呂に入り、全く差別がなかったこと。清潔で自由時間もあり健康的で、こんな良い環境なら勉強が出来そうな気がしたことだった。

私達は入った人数と同じかどうかを入念にチェックされ、またマイクロバスに乗った。帰りに庭の植木をきれいに刈り込んである五人程の受刑者がいたのが目に入った。審査員の一人が「面白かったけど見学は一度でも沢山だな」と行つた。その言葉に一同うなづいて、府中刑務所見学の旅は終わった。

BENDER, GOODMAN & SHEAR FURS LTD
KEN MUTO INTERNATIONAL



KEN MUTO 高級毛皮、ファーニット
オリジナルの老舗

毛皮のお手入れはお済みですか？
クリーニング、保管、修理は……

いつでもお気軽に武蔵までご連絡下さい。

317 ADELAIDE STREET WEST
TORONTO, ONTARIO, CANADA M5V 1P9
TEL: オフィス (593) 0152, 自宅 (251) 0856



未知との遭遇 エイリアンの卵?

JR全国バスと時刻表、それと払い終えたクレジットカードを片手にあてのない旅をするのが、何となく格好よく思えるのは僕のようなヒッピー世代だけだろうか? 「遠い旅に出ようか、それとも赤い風船に乗って・・・」学生時代、皆でよく歌ったフォークソングである。今日は東北であった素敵な思い出のひとつを紹介しよう。

早朝、出かけた青森駅、駅前の朝市で感激したのは、いろいろな新鮮な魚貝類がいっぱい並んでいることであつた。大抵のものなら見れば解るのだが、今まで見たことのないグロテスクな赤い球根らしきものが目についた。よく見ると握りこぶしより少々、大きな球根にはオレンジ色のような斑点がついている。

「これは海に住んでいるものですか? それとも地面の中から掘つたものですか?」と聞くと「青森湾で沢山、採れる」と言う。「動物ですか、それとも植物ですか?」と聞くと店員が変な顔をして相談の結果「多分、動物だと思ふ。」といいかげんな返事が返ってきた。「でもここに根つこらしきものがあるんですけれど?」と聞くと無視された。どう見てもエイリアンという映画に出てきた無気味な宇宙生物のイメージがするので「触ってもいいですか? 噛み付かないでしょう?」と確認

後、恐々、触れてみて「何か、イルカの皮膚みたいですね?」と言えは「そうですか?」と味気ない。

「申し訳ないのですが、僕の住んでいる街には、こんな珍しい物、売つてないので。食べるものなのではないでしょうか? それとも何かのおまじないにでも使うのでしょうか?」と聞くとやっとお互いに話がはずむようになってきた。

「おいしいですよ! とここで何処から来られましたか?」と聞いてきたので返答に困つた。

「思い切り遠い所なんです。」と説明しかけていた所で妻が「カナダです。」と口を挟んだ。「ヘエー、そんな町聞いたことないですね。」と言われて又、説明に困る。「アメリカの上つまり北極の方向にある国なんですけど・・・」と告げると驚いて「えっ、外国からですか?」と大騒ぎになった。

「それにしても奥さんの方は日本語が上手で・・・」と妻を誉めはじめた。(冗談きついねこの人、僕もまともな大阪弁喋っているのに)と一瞬、ムツとしたがそれよりも、どうしてもこのエイリアンを食べてみたくなつた。

「外国の人だったら口に合わないかも知れないね?」と中で相談しているのが聞こえてくるが「イヤー、僕は何でも大抵のものなら食べられますから・・・どうやって食べるのかぜひ教え



て下さい。」とすがる気持ち伝えると「包丁で切つて食べる」と全然返事になつていない。(当たり前だよ。こんな変なもの、生でかじつて食べる気になれるか)と思つたが、相手を怒らせては食べ損ねるので「まあ、それは大体想像がつかますが、そうやって切ればいいのですか? 調理方法もついでに教えて下さい。」と嘆願した。

「あー、そりやそうだよ。見たことないもの、どうすりゃいいのか解らないよね。」と言いながら切つてくれた。

「普通は醤油をかけて生のまま食べます。」と言つて出された皿の上には黄色いような赤いような身が並んでいた。一見おいしそうに見えても、やはり不安だったので妻が先に口にして「おいしい」と言つたのを確認してから食べてみた。

「貝みたいですね。でも、ちよつと違うけれど不思議な味がして、海を食べている気分がします。」と言うと見ていた店員のおばさんも喜んで「そうですか? 本当は内臓の部分がおいしいんですが、ちよつとエグいかもしれません。食べ比べてみますか?」と別の部分を切りはじめた。実際その部分はかなりエグかったが、作り笑いでごまかした。(多分、何回か食べているうちにやめられなくなる、丁度、サザエのしっぽにようなものかもしれない)

「妻は「お金、払います。」と言つたが結局、「いい旅の思い出として残しておいて下さい。」と言つてただにしてくれた。

「最後にひとつだけ聞かせて下さい。これは、この辺では何と呼ばれているのですか?」と質問したら「ホヤ」と言われた。「ホヤ、ホヤ、ホヤ・・・」忘れられないように時刻表にメモした。

その日、泊つた本州、最北端の下北半島大間温泉の料理にもやはり「ホヤ」が出た。二日後、いよいよ青森を出た。盛岡行き東北本線の待ち時間があつた。退屈した妻はひとりデパートに出かけたが、僕は「ホヤ」のおばさんに再び会いたくなつて朝市に向かった。「先日はどうもありがとうございました。」と言うと、よく覚えていてくれて、大間温泉の話がはずんだ。「これから帰ります。」と伝えると同時に何か格好のいいおみやげでも渡したくなつたが、それらしきものは何もなかった。ポケットを探るとカナダの二ドル硬貨が出てきた。「おばさん、これ、大した値打ちはないけれどエリザベス女王と白熊がついているからメダルにでもして下さい。」と言つて差し出すと、最初は受け取つてくれなかつたが、「僕の気持ちです。電話代にもならないけれど、僕が本当に嬉しいと思つた気持ちです。」と言うと「そうですか。私は多分、カナダには行けないから一生、大事にしまつておきますよ。」と言つて財布にしまつてくれた。

列車の中、まだ雪の残つた山を見ながら「とても素敵だったね。あれから又、朝市に行つて・・・」と妻に話すと「貴方らしいわね。」と笑つた。

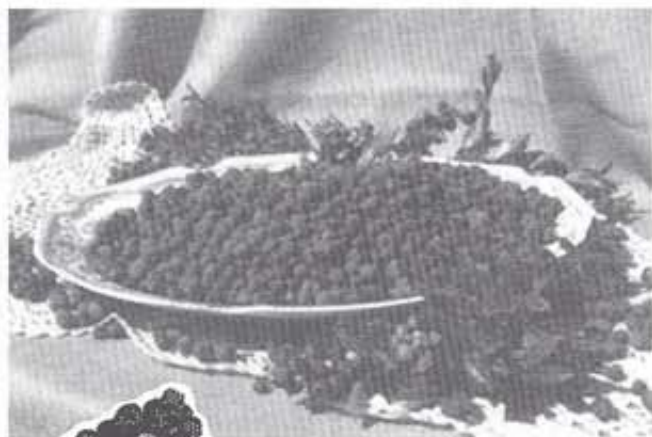
(森真一弘)

ブルーベリー ケーキ

フレッシュ・ベリーでも
冷凍のベリーでも作れる

はく吐息が白く踊る季節が回ってきました。落葉はきの後や暖炉の火にはげる木の音を耳にしながら好きな本を手にする時のひと休みに夏のなごりを含んでいるようなブルーベリー・ケーキはいかがでしょう。

冷凍のブルーベリーを使えば一年中味わたるケーキですが、生のブルーベリーが入ったケーキが一番です。



材料 (8インチスプリングフォーム型)

〔ケーキ〕

小麦粉 (オールパーパス) カップ2

ベーキングパウダー 小さじ2

塩 小さじ2分の1

無塩バター (室温・柔らかいもの)

カップ4分の1

砂糖 カップ2分の1又は4分の3

(好みで)

卵 大1個

ミルク カップ2分の1

ブルーベリー 1パイント

小麦粉 大さじ2

〔トッピング〕

無塩バター カップ4分の1

砂糖 カップ2分の1

小麦粉 ふるったものカップ3分の1

シナモン 小さじ2分の1

作り方

最初にオーブンを三七五度Fに暖めておきます。

型に紙を敷くかオイルを塗っておきます。

1. 小麦粉、ベーキングパウダー、塩を合わせ、ふるいにかけておきます。

2. バターをクリーム状に練り、砂糖を加え、ふわふわの状態になるまで三分くらい混ぜ合わせます。(バターは溶けない程度の柔らかさがよいようです。)

3. 2に卵を加え、かき混ぜます。

4. 3に1の粉類とミルクを交互に3度に分けて加え、混ぜます。

5. 洗って水切りをしっかりしたブルーベリーに大さじ二杯の小麦粉をまぶします。

* ケーキ種をよく混ぜるようにするために小麦粉をまぶします。お豆腐の入っていたプラスチックの容器に入れて、蓋をしつかり押さえて振り混ぜると全体によくまぶせます。ビニール袋でもいいです。

6. 5のブルーベリーをケーキ種に加えて混ぜ込み、型に種を流します。

(種は真ん中が少し凹むようにすると焼き上りの型がよいようです)

7. トッピングを作ります。トッピングの材料を全部合わせ、フォークなどでほろほろの状態に混ぜます。

(バターは少し固めの方が混ぜやすいと思います)

8. ケーキ種の上にトッピングを全体にまんべんなく載せ、三七五度Fのオーブンで約一時間焼きます。

* 五十分くらいのところでは焼き加減をテストして下さい。串に何もついて来なければ焼き上りです。

焼けてくるとバターの香りが漂ってきます。ダイエットを考えなくてもよい方は、ラム酒をたらし生クリームを泡立てをたっぷり乗つけてどうぞ。

(杉山園子)

「もうひとつの
イギリス史」

野と町の物語

小池 滋著

英国の最初の町、ロンドンがローマ人が英国島にきた紀元一世紀頃水路から陸路に積み替える物資流通、運送サービスの拠点として始まった。ローマ人が呼んだロンドンウムとは先住民族ブリトン人(ケルト人)の言葉で「沼地の砦」の意味だそうだ。

ロンドンの特長は政治・軍事基地ではなく、商業金力によって自立した町である。独立と自治で教会の大聖堂も国王の宮殿もハネのけて来た。十一世紀ノルマンディーからウィリアム王が侵入、征服した時もロンドン(シティ)には入らず、少し西のウエストミンスターに基地を構えた。ウエストミンスターは政治権力とそれに纏着した宗教権力の中心となった。

ロンドンの商人達は、国王が自分達の海外貿易に脅威を与える外敵と戦う時は財政的援助を惜しまなかった。十五世紀初めのヘンリー五世のノルマンディー侵攻の時、羊毛商のリチャード・ウィットントンが王室が羊毛にかける関税から払い戻す約束で七百マークを貸している。フランドル(オランダ)への羊毛の輸出がフランスに

妨害されないようにするためである。十六世紀半ば今度は羊毛原料の輸出国からもっと利益の多い加工国になるために、エリザベス一世に戦費を出して競争相手のフランドルを守るスペインの無敵艦隊をトラファルガー沖で全滅させた。金のある商人と金の必要な国王はもちつもたれつなのだ。

商人達は国王と自分らの利害が衝突する場合は、武力でなく話し合いで解決する方法を考えた(殺されたら元も子もない)。裁判を中立のプロの法律家に任せる、これが民事裁判のはしりである。国王がシティを訪れる時は境界線の壁の門で剣を渡した。これは今でも儀式としてシティに残っている。

十六世紀のロンドン人の価値観を表わしたのが、シエークスピアだと著者は言う。「ハムレット」の中にノルウェーの軍隊がポーランドに攻め込むためにデンマークの国内を通過するシーンがある。ハムレットが隊長にポーランドのどこに攻め込むのか?ときくと、隊長は「目標は僅かな土地のきれつばし、収益も上がらず名目ばかり、地代はたかだか五ダカット、五ダカットでも自分なら借りません。ノルウェイかポーランドか、どちらでも同じこと、売りに出してもせいぜいそんな相場でありませぬ」ハムレット「それならポーランド王も別に頑張る気はありますまい」隊長「ところが、すでに軍隊で固めております」今日でも通用する話である。

英国に野がなくなると十七世紀にクムウエルの軍隊がアイルランドに攻め込んだ。アイルランドを支配すると更に野を求めて海外の植民地へと触手を伸ばして行く。

野と町の歴史、言い換えれば商業資本主義経済の発展の歴史である。文学者の著者はその時代の作家の作品から野と町の力のバランスの変化を探って行く。

土地支配が権威の証拠という古い時代のフィールド支配型なので三人の娘に孝心テストをして領土を三分しようとするシエークスピアのリア王、土地贈与で老後の安楽を得ようとする親のエゴイズムに反対、ビュリタン時代の新しい価値観、「真実」を先取りして訴えるコーディアリア、自主独立、求めよさらば与えられん!のサッチャーにまで続く自助の精神の権化、スイフトのロビンソン・クルーソー、産業革命時代、エンクロージャー(囲い込み)で農村の共有地がなくなり、大地主の所有となり、農村を追われた農民は都市労働者や移民、流民になる、農村の荒廃を描いたゴルド・スミスの「誰もいない村」、異なる時代の異なる作品が英国が町で覆われていく課程を証明している。

地球上から野が消滅しつつある現在、「町はふたたび野になるのか?」と著者は問いかけているのだが。

(中公新書 七四〇円)

DCS
OVERSEA COURIER
SERVICE

海外新聞普及株式会社

日経・朝日・読売新聞国際衛星版を同日配達いたします
新聞・雑誌・書籍の御注文はOCSへ

Toronto

480 Carlingview Dr, Rexdale, Ontario M9W 6M8
Tel:(416) 675-9061, 9063

Vancouver

3600 Viking Way, Unit 250, Richmond, B.C. V6V 6M8
Tel:(604) 270-1139

HELLO
JAPAN
Citytv channel 57
Cable 7
EVERY SUNDAY 8:30~9:00AM.



JAPANESE FOODS & GIFT SHOP
SANKO
730 QUEEN ST. W. TORONTO
TEL (416) 703-4550 / FAX (416) 703-8593

編集室から



☆トロントの映画館監督、クロネンバ
ーグさんの「クラッシュ」が今上映
中で話題になっています。これから
見に行つて次号の「映画エッセイ」
に書くつもりです。(T・N)

☆ものを書くことは面倒くさいと思っ
ていたが、書き出して見たら面白
くなつて来ました。何気ない暮らし
の中でよく見ると面白いことや不
思議なことが沢山あります。子供の頃
はそんな一つ一つを鮮明に記憶して
いましたが、大人になって日常生活
が忙しくなるとすぐ忘れてしまいま
す。不思議なことを無視せずにピッ
クアップしていきたいと思ひます。
(J・G)

☆今年には宮沢賢治の生誕百年だそう
ですが、ぼくは大人になつた今でも宮
沢賢治が好きです。「銀河鉄道の
夜」など子供の時以来の愛読書です。
賢治は努力家で、夢想家で、いつも
夢を追いかけている。いつまでも夢
を追いかけている人は素敵です。
パークレーで心理学を学んだ後しば
らくたつて、「二〇〇一年の宇宙の旅
」という映画を見ました。その後で
コンピュータの会社の入社試験を受
けて、面接の時に、「いつかコンピュ
ータも精神の病いにかかつて、精神
を扱う医者が必要になるでしょう」
と言つたら気に入られて採用になり
ました。何か取り留めのない話です
みません。(K・M)

☆イエローナイフでオーロラ・ツアー
をやっている鈴木さんがトロントへ
来たついでに「オーロラ」という雑
誌があるそうで・・・といつてわざ
わざ訪ねて下さつた。ダイヤモンド
やゴールドの探査、採掘をする人達
のためにヘリコプター・バイロット
をする傍ら、奥さんと二人でツアー
ガイドをしている。「冬のオーロラ
も素晴らしいけれど、夏のイエロー
ナイフもいいですよ」と、さわやか
な笑顔を残して北へ帰つて行つた。

☆友人の「秋のお茶会」の招待を受け
て、がさつな毎日をしぼし忘れたく
会場のプリンスホテルへ出かけた。
鶴屋吉信から取り寄せた干菓子とい
ただき、大ぶくのお茶を目をつぶつ
て飲む。「お代わりをどうぞ」とい
われて、お行儀が悪いと思ひつつあ
まりにおいしいので、つい「お願
いします」と頂いてしまう。お抹茶を
ミキサーでたてたり、アイスクリー
ムにかけて食べたりしている日常を
反省。

☆「秋号はいつ出るのですか？」この
一ヶ月何回聞かれたことであらう。
Nさんは仕事と引越越して忙しく、
Jさんはおめでた、Hさんは色々な
トラブルと、急遽企画を変更したり
あれこれ重なつて予定よりひと月近
く遅れてしまった。一番の原因は編
集発行人の非力にあることは確実で
す。(K・H)

オーロラ購読申込み用紙

年4回発行 年間購読料14ドル(郵送料、GST込み)
小切手を添えて郵便でお申込み下さい

オーロラ

ネーム _____

アドレス _____

郵便番号 _____

オーロラ

(代表・平塚かずよ)

お試しになりました？
ベストセラー
FLOWLIN



発売以来日本では男性にも女性にも幅広く人気を博しています。当カナダでもお求め頂けるフローリンは、ふけや抜け毛を防ぎます。洗髪後フローリンを頭皮にかけ、指先でマッサージして下さい。空気の乾燥する冬は常に頭皮の清潔を心掛け、洗髪をまめにして下さい。

資生堂化粧品は、平成マート、Bay, Eaton, Sears等、約240店の化粧品売り場でお求め頂けます。日系の皆様方には何かとご不便をおかけしていると思います。お困りのことやお問い合わせなどがおありでしたら、販売担当の西田まで、ご連絡頂きたく存じます。

電話 = (416) 361-3324

住所 = Shiseido Canada Inc

468 Queen Street, East, Suite 212 Box 12
Toronto, Ontario M5A 1T7

SHISEIDO

ショーフレックスのお客様はすべて
V. I. P.

大・小バス / ミニバン / ストレッチリムジン
セダンなど... すべて日本語のガイドまたは
ドライバーがご案内いたします。



- 空港ご送迎・ナイアガラ観光は快適なリムジンで。
- テクニカルビジット・通訳 その他もアレンジいたします。

Show Flex International Inc.

315 Adelaide St. W., Toronto ON M5V 1P8

Tel: (416) 977-6849 Fax: (416) 977-0765

ALL NEW CAMRY

WE'VE CHANGED EVERYTHING, INCLUDING ITS PERSONALITY.

We lowered the front to reduce wind resistance. For better performance, we increased power. To make your ride quieter, we added acoustic insulation. To make it more comfortable, we stretched the wheelbase to give you more leg room. To make life easier, we included an accessory power outlet and an overhead storage compartment. And to keep you cooler on sunny days, windows are now UV protected. In fact, the only thing we didn't change is the name. Camry. See it in a whole new light, nicely equipped, from **\$21,178***



 **TOYOTA**

Your Toyota Dealer is a proud sponsor of Canadian Special Olympics. *MSRP for 1997 Camry CE (1G22KM AA). Price excludes license, insurance, applicable taxes, freight and PDE. Dealer may sell for less. Model shown with optional equipment. See dealer for details.

TAKE the BRIGHT SIDE of the ROAD